

生徒の実態
・明るく素直である。 ・自身の意見をはっきり主張することや集中力等に課題が見られる。
教員の願い
・何事にも意欲的で意志の強い生徒 ・自他の生命を尊び、協調性をもつ生徒
地域の実情
・保護者の行事への関心が高く、協力的である。 ・自治会等、地域とは特別活動を通じて交流している。

各教科	
国語	文芸作品などを通して人間としての生き方についての考えを深めるとともに思考力や表現力を育てる。
社会	社会的事象に関心をもち社会の変化に対応できる能力を育てるとともに、社会に必要な公民的資質の基礎を養う。
数学	数学的事象に関心をもち、数学的な見方、考え方のよさを知り、活用する能力を育てる。
理科	自然現象に関心をもち、グループによる実験、観察を通して、協力して生活する態度を育てる。
音楽	音楽に親しみ感性や表現する意欲を高めるとともに、それを生活に生かす態度を育てる。
美術	美術に親しみ主体的に表現し創造する意欲を高めるとともに、それを生活に生かす態度を育てる。
保体	運動の楽しさを通して健康の増進と体力の向上を図り、安全で健康に生活する能力を育てる。
技・家	日常生活や技術について関心をもち、生活を充実・向上させるために進んで工夫する能力を育てる。
英語	外国語を用いて積極的に他国の人々とコミュニケーションを図ろうとする意欲を高める。
日本語	相互に率直に表現し合い深く合うことを通じて、コミュニケーション能力、課題発見・解決力等の基礎を培い、「ことばの力」を高める。

NIE(教育に新聞を)
新聞を教材として活用し、よりよい社会の形成に向かおうとする意欲を高める。

教育目標
①より深く学ぶ生徒を育てる ②勇気と思いやりをもつ生徒を育てる ③健康で明るい生徒を育てる

・日本国憲法 ・教育基本法、学校教育法 ・学習指導要領 ・世田谷区教育要領
--

本校の特別活動の目標
学校・学級環境を整備し、学級活動や生徒会活動、学校行事、部活動などの活動を価値的に行うことで、心身の健康や良好な人間関係を保持・増進するとともに、人間としての生き方について自覚を深める。

生徒指導
・人間関係の醸成 ・自発性、主体性を尊重した指導 ・生徒理解 ・関係機関との連携 ・教育相談の活用 ・社会とのかかわりを重視

特別活動の指導方針
【豊かな心の育成】 ・豊かで充実した学校の生活体験を通して、教員と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係の醸成を図る。また、集団や社会の一員として互いに人格を尊重し合いながら協力して生きようとする態度を育てる。
【自発性、主体性の態度の育成】 ・自治的な能力の伸長を図るため、諸活動における生徒の活動場面の設定を工夫する。
【たくましい心と身体の育成】 望ましい集団活動を通して、生徒の心身の健全な発達を図るとともに、自己を鍛錬しようとする自主的な態度を育てる。

道徳
・道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などが補充・深化・統合されるよう、様々な場面を通して道徳的価値について考えさせることで、道徳の実践力を育成する。また「考え、議論する道徳」を取り入れ、多様な道徳的価値観を育成する。

本年度の指導の重点
・特に学校行事や生徒会活動、学級活動等では、「協働」と「自己決定」の場面を重んじ、生徒の主体性や自己を生かす能力の伸長を図る。 ・学校行事や生徒会活動、学級活動等を通して、生徒同士の関係づくりを重視した指導を展開し、生徒の居場所や帰属意識を涵養するとともに、人間性や共生社会の基盤となるコミュニケーション能力を高め、社会参画の意識をもたせる。 ・学校行事や生徒会活動の活性化を図り、生徒一人ひとりの個性を生かしながら、共に支え合い、向上しようとする実践力を育てる。 ・社会の一員としての自覚と責任および自主的・実践的な態度を育成する。また、カリキュラム・マネジメントの視点で各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を図り、自己の生き方について考えを深めさせる。

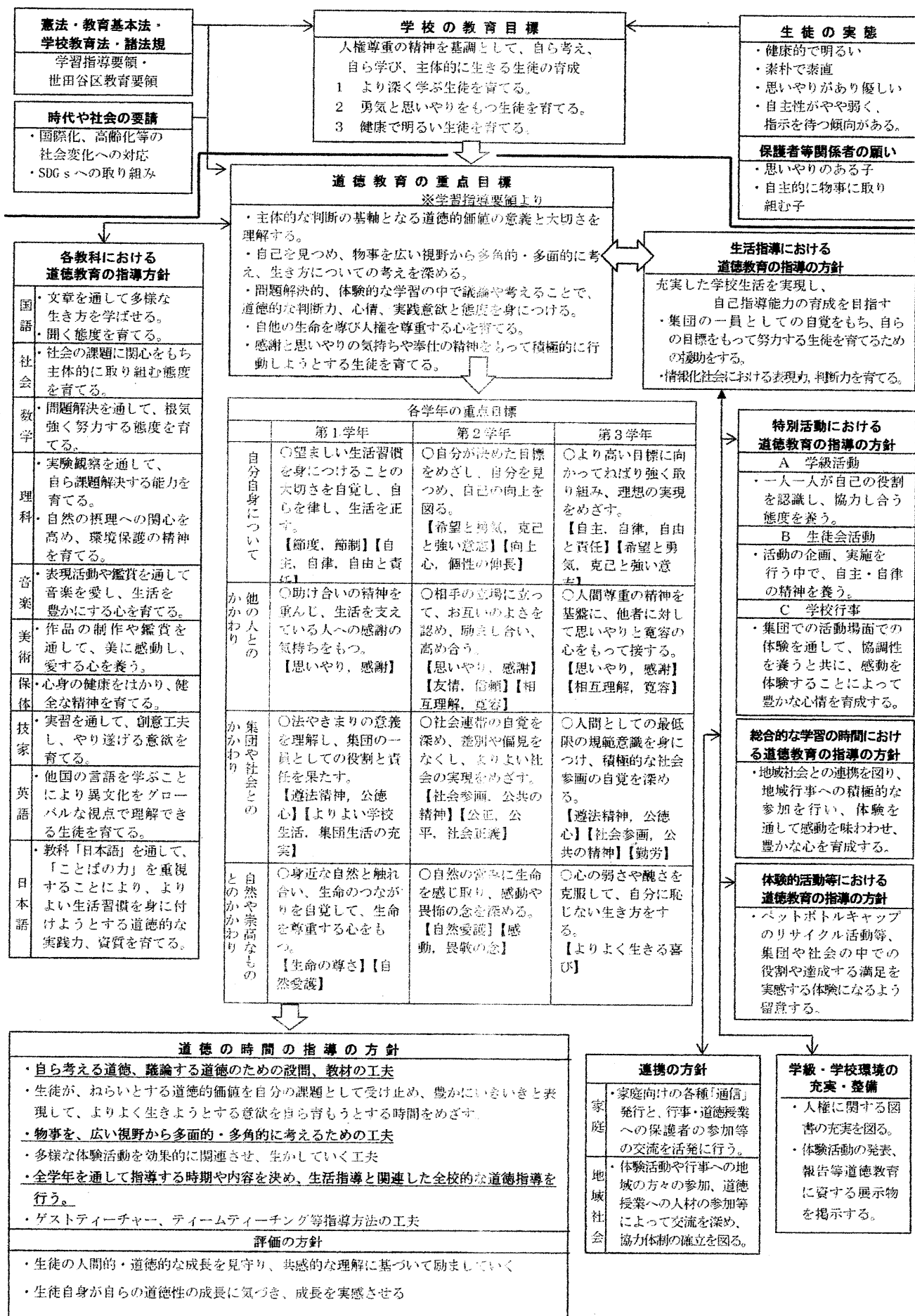
総合的な学習の時間
・課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育て、自発的に活動する意欲を高める。 ・問題解決的な学習や探究する活動を通して、自己の生き方を考えることができる人間を育成する。

特別活動の各内容別目標	
学級活動	・生徒一人一人が学級内の役割を分担し、話し合いや係活動などを通して、学級生活や学校生活の向上と発展に努める態度を育成する。 ・学習活動について個別的、継続的な指導を行い、主体的に学ぼうとする意欲や態度を育てるとともに、よりよい将来の生き方と適切な進路を選択する能力を育成する。
生徒会活動	・学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力活動、ボランティア活動などを通して、きまりの大切さを理解し、楽しく創造的な学校生活を築こうとする自発的・自治的な態度を育成する。
学校行事	・生徒の積極的な参画と協力をもとにした集団活動を通して、学級・学年・学校への所属感を培う。 ・学校生活に望ましい変化や折り返しをつけて、学校生活を秩序や変化のある豊かなものにするとともに、心身の健全な発達を図る。 ・自然体験、社会体験を充実させ、生徒の自発的な活動を通して創造性や社会性を育成する。

教育課題
・「キャリアパスポート」を活用し、キャリア教育の基礎的・汎用的能力を発達段階に応じて育成する。 ・情報教育を推進し、多くの情報から必要な情報を適切に取捨選択して、自ら正しい情報を発信する能力やリテラシー等を育成する。 ・食育を推進し、食と心身の健康について自ら考え、実践する生徒の育成に努める。 ・「人格の完成をめざして」を推進し、あいさつや思いやり、良心など自他を敬愛し、自立した個人として成長しようとする心と生活習慣を身に付ける支援をする。

学び舎・家庭・地域との連携
・学び舎の小学校との連携を密にし、交流活動、あいさつ運動、体験学習などの活動を通して、学び舎内の活動を推進する。 ・地域の行事などへの積極的な参加をすすめるとともに、ボランティア活動や文化的活動の実践を通して、地域社会との連携を図り、地域社会の一員としての自覚を深めさせる。

令和8年度 道徳教育 全体計画



憲法・教育基本法・学校教育法・諸法規
学習指導要領・世田谷区教育要領

時代や社会の要請
・国際化、高齢化等の社会変化への対応
・SDGsへの取り組み

学校の教育目標
人権尊重の精神を基調として、自ら考え、自ら学び、主体的に生きる生徒の育成

- 1 より深く学ぶ生徒を育てる。
- 2 勇気と思いやりをもつ生徒を育てる。
- 3 健康で明るい生徒を育てる。

生徒の実態

- ・健康的で明るい
- ・素朴で素直
- ・思いやりがあり優しい
- ・自主性がやや弱く、指示を待つ傾向がある。

保護者等関係者の願い

- ・思いやりのある子
- ・自主的に物事に取り組む子

道徳教育の重点目標
※学習指導要領より

- ・主体的な判断の基軸となる道徳的価値の意義と大切さを理解する。
- ・自己を見つめ、物事を広い視野から多角的・多面的に考え、生き方についての考えを深める。
- ・問題解決的、体験的な学習の中で議論や考えることで、道徳的な判断力、心情、実践意欲と徳を身につける。
- ・自他の生命を尊び人権を尊重する心を育てる。
- ・感謝と思いやりの気持ちや奉仕の精神をもって積極的に行動しようとする生徒を育てる。

生活指導における道徳教育の指導の方針

充実した学校生活を実現し、自己指導能力の育成を目指す

- ・集団の一員としての自覚をもち、自らの目標をもって努力する生徒を育てるための援助をする。
- ・情報化社会における表現力、判断力を育てる。

各教科における道徳教育の指導方針

国語	・文章を通して多様な生き方を学ばせる。 ・聞く態度を育てる。
社会	・社会の課題に関心をもち主体的に取り組む態度を育てる。
数学	・問題解決を通して、根気強く努力する態度を育てる。
理科	・実験観察を通して、自ら課題解決する能力を育てる。 ・自然の摂理への関心を高め、環境保護の精神を育てる。
音楽	・表現活動や鑑賞を通して音楽を愛し、生活を豊かにする心を育てる。
美術	・作品の制作や鑑賞を通して、美に感動し、愛する心を養う。
保健	・心身の健康をはかり、健全な精神を育てる。
技家	・実習を通して、創意工夫し、やり遂げる意欲を育てる。
英語	・他国の言語を学ぶことにより異文化をグローバルな視点で理解できる生徒を育てる。
日本語	・教科「日本語」を通して、「ことばの力」を重視することにより、よりよい生活習慣を身に付けようとする道徳的な実践力、資質を育てる。

各学年の重点目標

	第1学年	第2学年	第3学年
自分自身について	○望ましい生活習慣を身につけることの大切さを自覚し、自らを律し、生活を正す。 【節度、節制】【自主、自律、自由と責任】	○自分が決めた目標をめざし、自分を見つめ、自己の向上を図る。 【希望と勇気、克己と強い意志】【向上心、個性の伸長】	○より高い目標に向かってねばり強く取り組み、理想の実現をめざす。 【自主、自律、自由と責任】【希望と勇気、克己と強い意志】
他の人との	○助け合いの精神を重んじ、生活を支えている人への感謝の気持ちをもつ。 【思いやり、感謝】	○相手の立場に立って、お互いのよさを認め、励まし合い、高め合う。 【思いやり、感謝】【友情、信頼】【相互理解、寛容】	○人間尊重の精神を基盤に、他者に対して思いやりと寛容の心をもって接する。 【思いやり、感謝】【相互理解、寛容】
集団や社会との	○法やさまじりの意義を理解し、集団の一員としての役割と責任を果たす。 【遵法精神、公德心】【よりよい学校生活、集団生活の充実】	○社会連帯の自覚を深め、差別や偏見をなくし、よりよい社会の実現をめざす。 【社会参画、公共の精神】【公正、公平、社会正義】	○人間としての最低限の規範意識を身につけ、積極的な社会参画の自覚を深める。 【遵法精神、公德心】【社会参画、公共の精神】【勤労】
自然や崇高なもの	○身近な自然と触れ合い、生命のつながりを自覚して、生命を尊重する心をもつ。 【生命の尊さ】【自然愛護】	○自然の営みに生命を感じ取り、感動や畏怖の念を深める。 【自然愛護】【感動、畏怖の念】	○心の弱さや醜さを克服して、自分に恥じない生き方をする。 【よりよく生きる喜び】

特別活動における道徳教育の指導の方針

A 学級活動

- ・一人一人が自己の役割を認識し、協力し合う態度を養う。

B 生徒会活動

- ・活動の企画、実施を行う中で、自主・自律の精神を養う。

C 学校行事

- ・集団での活動場面での体験を通して、協調性を養うと共に、感動を体験することによって豊かな心情を育成する。

総合的な学習の時間における道徳教育の指導の方針

- ・地域社会との連携を図り、地域行事への積極的な参加を行い、体験を通して感動を味わわせ、豊かな心を育成する。

体験的活動等における道徳教育の指導の方針

- ・ペットボトルキャップのリサイクル活動等、集団や社会の中での役割や達成する満足を実感する体験になるよう留意する。

道徳の時間の指導の方針

- ・自ら考える道徳、議論する道徳のための設問、教材の工夫
- ・生徒が、ねらいとする道徳的価値を自分の課題として受け止め、豊かにいきいきと表現して、よりよく生きようとする意欲を自ら育もうとする時間をめざす。
- ・物事を、広い視野から多角的・多面的に考えるための工夫
- ・多様な体験活動を効果的に関連させ、生かしていく工夫
- ・全学年を通して指導する時期や内容を決め、生活指導と関連した全校的な道徳指導を行う。
- ・ゲストティーチャー、ティームティーチング等指導方法の工夫

評価の方針

- ・生徒の人間的・道徳的な成長を見守り、共感的な理解に基づいて励ましていく
- ・生徒自身が自らの道徳性の成長に気づき、成長を実感させる

連携の方針

家庭

- ・家庭向けの各種「通信」発行と、行事・道徳授業への保護者の参加等の交流を活発に行う。

地域社会

- ・体験活動や行事への地域の方々の参加、道徳授業への人材の参加等によって交流を深め、協力体制の確立を図る。

学級・学校環境の充実・整備

- ・人権に関する図書充実を図る。
- ・体験活動の発表、報告等道徳教育に資する展示物を掲示する。

令和8年度 特別の教科道徳 年間指導計画 1年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の授業を始めよう!	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「道徳で何を学ぶのか」「どうやって学ぶのか」を考え、道徳授業の見通しをもつ。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】 10 みんなで成功させよう	文化祭の活動でさまざまな立場や考え方が描かれた教材を通して、それぞれの問題点、リーダー、フォロワーにとって大切なことについて考えさせ、役割と責任を自覚し、協力して集団生活を向上させようとする判断力を育てる。	★集団での活動を充実させるためには、どんなことが大切なのだろう。 1 これまでに、集団で充実した活動ができた経験を振り返る。 2 「みんなで成功させよう」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
5月	【B(6)思いやり, 感謝】 13 父の言葉	黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して、他者への思いやりについて考えさせ、思いやりのある行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★相手のことを考えて行動するとき大切なのは、どんなことだろう。 1 親切にしたいと思ったのに、できなかったことはないかを振り返る。 2 「父の言葉」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8)友情, 信頼】 25 親友	異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して、性別等にとらわれない友情関係や信頼関係について考えさせ、友達を大切にしていこうとする心情を育てる。	★友達を大切にすることは、どういうことだろう。 1 自分にとって、友情とは何かを考える。 2 「親友」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
6月	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 6 魚の涙	魚類学者でタレントのさかなクンが著した文章を通して、いじめが起こらない社会をつくるために大切なことについて考えさせ、差別や偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★いじめが起こらない社会をつくるために大切なことは、何だろう。 1 さかなクンを紹介する。 2 「魚の涙」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 6 深めたいむ	いじめをなくすために大切なことは何かを考えさせ、自分の良さを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★いじめをなくすために大切なことは何か、考えよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」を読み、活動する。 3 「学びの記録」に記入する。
7月	【A(3)向上心, 個性の伸長】 28 カメは自分を知っていた	百人一首大会でライバル関係にある生徒たちの物語を通して、自己を知り、向上心をもって物事に取り組む姿勢について考えさせ、自分のよさを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分のよさを伸ばすために大切なのは、どんなことだろう。 1 自分のよさは何かを考える。 2 「カメは自分を知っていた」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 11 ひまわり	東日本大震災、阪神・淡路大震災を巡る実話を通して、生命の尊さについて考えさせ、自他の命を大切にしていこうとする心情を育てる。	★人は、どうして「命の尊さ」を感じるのだろう。 1 東日本大震災について、知っていることを出し合う。 2 「ひまわり」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(10)遵法精神, 公徳心】 18 仏の銀蔵	高利貸しの男と金銭を借りている人々の昔話を通して、法やきまりを守ることの意義について考えさせ、それらを大切に生活しようとする心情を育てる。	★法やきまりを守ることの意義について、考えよう。 1 「高利貸し」と「証文」の意味を確認する。 2 「仏の銀蔵」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(12)社会参画, 公共の精神】 16 紙芝居	ボランティアで紙芝居を上演することになった生徒たちの物語を通して、社会に積極的に関わっていくことの大切さについて考えさせ、社会的な役割を果たし、自ら協力していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★社会に積極的に関わっていくことで見えてくるのは、どんなことだろう。 1 ボランティア活動についての考えやイメージを共有する。 2 「紙芝居」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
9月	【C(18)国際理解, 国際貢献】 23 異文化の人々と共に生きる	日本人と外国の人との間に生じたギャップを巡る事例を通して、異なる文化をもつ人どうしが共生していくために大切なことについて考えさせ、異文化を尊重し、理解し合おうとするための判断力を育てる。	★異なる文化をもつ人々と共に生きていくために大切なことは、何だろう。 1 外国の人と関わった経験を振り返る。 2 「異文化の人々と共に生きる」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ（★）・学習活動
10月	【A(2) 節度, 節制】 4 「養生訓」より	貝原益軒の「養生訓」を取り上げた漫画を通して、健康な毎日を送るために節度や節制心がけて生活することの大切さについて考えさせ、心と体の健康に気をつけて生活していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★健康に毎日を送るために大切なのは、どんなことだろう。 1 毎日を健康に過ごしているかを振り返る。 2 『養生訓』よりを読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(6) 思いやり, 感謝】 35 橋の上のおおかみ	意地悪な行いをしていたおおかみが、自らの行動を改める物語を通して、思いやりについて考えさせ、相手の立場に立って行動しようとする心情を育てる。 小学校で既習の物語であり、自らの考え方の変化や成長を確かめることができる。	★思いやりの心について、考えを深めよう。 1 小学生のときに「思いやり」について学んだことを振り返る。 2 「橋の上のおおかみ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(13) 勤労】 17 私が働く理由	がん患者専門の美容師や靴磨き職人など、さまざまな職業に就いている人々の仕事への思いや考えなどを知り、働くことの意義や喜びについて考えさせ、自らも充実した働き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。	★人が「働く」理由とは、どういうものだろう。 1 「自分の働く理由」のアンケート結果から、働く理由について考える。 2 「私が働く理由」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1) 自主, 自律, 自由と責任】 12 裏庭での出来事	友達に判断に流されたうえに、ガラスを割ったことを責任転嫁してしまったことに悩む生徒の姿を通して、自分の行動に責任をもつことについて考えさせ、自ら考え、行動したことに責任をもつための判断力を育てる。	★自分の行動に責任をもつとは、どういうことだろう。 1 自分の行動に無責任になった経験を振り返る。 2 「裏庭での出来事」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
11月	【C(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実】 34 初めての伴奏	合唱コンクールの練習をする生徒たちの物語を通して、クラスで何かを成し遂げるときに大切なことについて考えさせ、よりよい学校生活を自らつくっていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★クラスで何かを成し遂げるときに大切なことは、何だろう。 1 クラスで取り組んできた行事を振り返る。 2 「初めての伴奏」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(10) 遵法精神, 公徳心】 33 雨の日の昇降口	急な雨の際、他人の傘を無断で借用してよいかどうかで迷う生徒の物語を通して、きまりを守ることの大切さや公徳心について考えさせ、住みよい社会にするために、公徳心をもって生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	★住みよい社会を実現するために大切なのは、どんな心だろう。 1 友達からよくないことを勧められた経験を振り返る。 2 「雨の日の昇降口」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11) 公正, 公平, 社会正義】 27 やっぱり樹里は	不公正な場面を見ずごさず、偏見や差別のない態度を取った生徒を描いた物語を通して、正義や公正さについて考えさせ、公正、公平に行動することで、よりよい集団や社会を形成していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★正義や公正さについて、考えよう。 1 不公正や不公平を感じても、何もせずに済ませてしまった経験がないかを振り返る。 2 「やっぱり樹里は」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(7) 礼儀】 14 学習机	お客さまを相手にトラブルを起こした新入社員の「私」が、自分の考えを改めていく姿を通して、人と関わるときに大切な礼儀の心について考えさせ、相手を敬い、時と場に応じた行動を取ろうとする心情を育てる。	★人と関わるときに大切な礼儀の心とは、どんなものだろう。 1 礼儀について、今の自分の考えを出し合う。 2 「学習机」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19) 生命の尊さ】 20 捨てられた悲しみ	犬猫に関する環境省の調査資料、日本動物愛護協会のペット飼育に関するポスター、犬猫の殺処分を行う施設の職員の仕事を追った文章と写真を通して、生命を尊ぶことについて考えさせ、生き物の命を大切にしていこうとする心情を育てる。	★身近な生き物の命について、考えよう。 1 動物の命と触れ合った経験を振り返る。 2 「捨てられた悲しみ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
12月	【B(9) 相互理解, 寛容】 15 言葉の向こうに	SNS 上でのトラブルについて描かれた教材を通して、異なる立場の者どうしのコミュニケーションの取り方や寛容さについて考えさせ、他者の思いや立場を考えて行動する実践意欲と態度を育てる。	★立場の違う人と関わるときに大切なことは、何だろう 1 インターネット上での書き込みの経験について振り返る。 2 「言葉の向こうに」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(20) 自然愛護】 21 「ソーセージ」の悲しい最後	観光客の身勝手な餌やりが原因で駆除されてしまったヒグマのエピソードを通して、人と自然がよりよい関係を築くために必要なことについて考えさせ、自然を尊重し、進んで自然を愛護しようとするための判断力を育てる。	★人と自然がよりよい関係を築くためには、どんな考えが必要だろう。 1 野生動物に関する自分の経験を振り返る。 2 『「ソーセージ」の悲しい最後』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(21) 感動, 畏敬の念】 29 命の木	屋久島の原生林の様子を描いた文章を通して、人はどうして感動するのかについて考えさせ、自然などの美しさや人の力を越えたものに心を動かされることを大切にしようとする心情を育てる。	★人は、どうして感動するのだろうか。 1 自然に対して感動した経験を想起する。 2 「命の木」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ・★・学習活動
	【C(14) 家族愛、家庭生活の充実】 3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」	家族の在り方について考えさせ、家族への愛情をもち、家庭生活を充実させていこうとする心情を育てる。	★家族愛、家庭生活の充実とは、どういうことだろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「三百六十五×十四回分の「ありがとう」」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 19 なおしもん	重要無形文化財の輪島塗に関する文章を通して、郷土に根ざした伝統と文化を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★郷土の伝統や文化を大切にすることは、どういうことだろう。 1 自分たちが暮らす地域の伝統や文化について思いつくものを発表する。 2 「なおしもん」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
1月	【C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 22 日本のお米	米や稲が日本の食文化や自然環境を支えてきたことを説明した文章を通して、伝統的な農業や文化を引き継いでいくことの大切さについて考えさせ、自分にできることをしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★昔の日本人が大切にしてきた伝統や文化に対して私たちができるのはどんなことだろう。 1 日本の伝統文化について考える。 2 「日本のお米」を読み、お米と日本人との関わりを知る。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19) 生命の尊さ】 30 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた文章と写真を通して、尊厳ある生と死の在り方について考えさせ、命を大切に生きていこうとする心情を育てる。	★「生きる」とは、どういうことだろう。 1 自分と祖父母との関わりを振り返る。 2 「エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1) 自主、自律、自由と責任】 2 自分で決めるって？	自主、自立の意識をもつことの大切さについて考えさせ、自分の責任で物事を決定しようとする判断力を育てる。	★「自主、自立の意識」とは、どういうことだろう。 1 今までの自分について振り返る。 2 「自分で決めるって？」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
2月	【D(22) よりよく生きる喜び】 26 銀色のシャープペンシル	友達のシャープペンシルを拾って自分のものにしてしまったことを言いだせなかった主人公の姿を通して、心の弱さを乗り越えさせるものとは何かについて考えさせ、自分も弱さを乗り越えて生きていこうとする心情を育てる。	★心の弱さを乗り越えさせるものとは、何だろう。 1 これまでの自分の経験を振り返る。 2 「銀色のシャープペンシル」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(9) 相互理解、寛容】 7 私話を聞いてね	右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して、自他の個性や立場を尊重し合って生きることの大切さについて考えさせ、違いを認め合っていこうとする心情を育てる。	★人と人がわかり合うために大切なことは、何だろう。 1 誰かと価値観や考え方が違うと感じたことがあるかを振り返る。 2 「私話を聞いてね」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8) 友情、信頼】 32 いちばん高い値段の絵	画家のミレーとルソーとの関係を描いた物語から、友達とはどんな存在かについて考えさせ、友達と信頼関係を築いていこうとする心情を育てる。	★友達とは、どんな存在なのだろう。 1 友達と、日々どのように過ごしているかを振り返る。 2 「いちばん高い値段の絵」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
3月	【B(6) 思いやり、感謝】 9 席を譲ったけれど	中学生が高齢者に電車で席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と、その反響を通して、思いやりや感謝の心を育てることについて考えさせ、他者に思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。	★思いやりや感謝の心を育てていくために大切なことは、何だろう。 1 「思いやり」についての考えを出し合う。 2 「席を譲ったけれど」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4) 節度、節制】 5 夢を諦めない	夢や目標をもつことの大切さについて考えさせ、目標に向かい、夢と希望をもって着実にやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	★夢や目標をもつことが大切なのは、なぜだろう。 1 自分の夢や目標について考える。 2 「夢を諦めない」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(5) 真理の探究、創造】 8 六十二枚の天気図	夏休みの宿題に取り組むことをきっかけに主体的に天気について調べ始めた生徒の姿を通して、真理を探究していくのに大切なことについて考えさせ、疑問やわからないことを探究し続けようとする実践意欲と態度を育てる。	★真理を探究していくのに大切なことは、何だろう。 1 これまでに、何かを知りたい、追究したいと思った経験を出し合う。 2 「六十二枚の天気図」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(22) よりよく生きる喜び】 24 撮れなかった一枚の写真	フォト・ジャーナリストの吉田レイ子さんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を記した文章を通して、ヒューマニズムや職業観について考えさせ、人としての自分を知り、自分らしく生きていこうとする心情を育てる。	★人としてよりよく生きるとは、どういうことだろう。 1 「よりよく生きる」とはどういうことか、具体的に考えてみる。 2 「撮れなかった一枚の写真」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。

令和8年度 特別の教科道徳 年間指導計画 2年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ★・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の授業を始めよう！	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのか、なぜ学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 今日の学習のめあてを知る。 2 「道徳で何を学ぶのか」「どうやって学ぶのか」を考え、道徳授業の見通しをもつ。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(15)よりよい学校生活, 集団生活の充実】 2 テニス部の危機	テニス部の活動方針を巡って対立した生徒の話を通して、集団の一員として、よりよくあるために大切なことを考えさせ、集団生活を充実させていくための判断力を育てる。	★集団の一員として、よりよくあるために大切なことは、何だろう。 1 自分の所属する集団の、自分にとっての意義や目標について考える。 2 「テニス部の危機」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1)自主, 自律, 自由と責任】 3 カラカラカラ	電車の中で転がる空き缶を拾うか迷う主人公の姿を通して、自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、判断し、誠実に実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	★自ら考えて行動するとは、どういうことだろう。 1 よいことをしようと思っていたのにできなかった経験を話し合う。 2 「カラカラカラ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
5月	【B(9)相互理解, 寛容】 4 ジョコチュウ	クラスメートの言動を自己中心的だと誤解した生徒の物語を通して、考えや立場の違いを尊重し合うためにどんなことが大切なのかを考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする実践意欲と態度を育てる。	★考え方や立場の違いを尊重し合うためには、どんなことが大切なのだろう。 1 「ジョコチュウ」という言葉をどのような場面で相手に使っているかを振り返る。 2 「ジョコチュウ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(8)友情, 信頼】 5 松葉づえ	松葉づえを突いている転校生に親切にしていたクラスメートたちが、しだいに態度を変えてしまう姿を通して、「友情」とはどのようなものかを考えさせ、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。	★「友情」とは、どのようなものだろう。 1 友達がいよかったと思った経験を出し合う。 2 「松葉づえ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(12)社会参画, 公共の精神】 6 消防団	消防団に参加することで地域社会に貢献している巻出さんの姿を通して、地域のために活動することについて考えさせ、自分の地域や社会に積極的に関わっていこうとする心情を育てる。	★社会の一員として地域や社会に関わっていくには、どのような思いが大切だろう。 1 地域貢献についての考えを出し合う。 2 「消防団」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
6月	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 7 明日, みんなで着よう	「ピンクシャツデー」といういじめ反対運動を世界に広めたカナダの生徒たちの実話を通して、誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことについて考えさせ、いじめや差別, 偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★誰もが安心して過ごせる社会にするためには、どんなことが大切だろう。 1 「ピンクシャツデー」について紹介する。 2 「明日, みんなで着よう」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 7 深めたいむ		★「いじめ」をなくすために大切なことは何か、考えよう。 1 前時の学びを振り返るとともに、「いじり」と「いじめ」を比較して考える。 2 「深めたいむ」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 8 命が生まれるそのときに	詩「いのちの音」と、出産を撮影するフォトグラファーの文章や写真を通して、「生きている」ことの尊さについて考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。	★「生きている」ことの尊さについて、考えよう。 1 生きていると感じるのはどんなときかを考える。 2 「命が生まれるそのときに」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(1)自主, 自律, 自由と責任】 9 許せないよね	インターネットへの匿名の書き込みから行き違いが生じてしまう物語を通して、自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせ、物事を自律的に実行して、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。	★責任ある行動とは、どのようなものだろう。 1 自分の言動に責任をもった生活をしているかを振り返る。 2 「許せないよね」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
7月	【D(22)よりよく生きる喜び】 10 あと一歩だけ, 前に	スガシカオさんの曲の歌詞を通して、自分を見つめ、人として生きていくことがどういうことなのかを考えさせ、弱さや醜さを克服してよりよく生きていこうとする心情を育てる。	★自分を見つめ、生きることにについて、考えよう。 1 自分の心に寄り添う歌について思い起こす。 2 「あと一歩だけ, 前に」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(14)家族愛, 家庭生活の充実】 11 異なり記念日	「異なり記念日」に込めた筆者の家族に対する思いを通して、温かい信頼関係や愛情のある「家族の在り方」について考え、家族の一員としての自覚をもって積極的にに関わり、よりよい家族関係を築いていこうとする心情を養う。	★「異なり記念日」を読んで、家族のつながりについて、考えよう。 1 自らの考える家族のよさについて振り返る。 2 「異なり記念日」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
9月	【A(2)節度, 節制】	中高生を対象とした自由時間についての調査や、ネットゲームへの依存に関する	★望ましい生活習慣について、考えよう。

月	内容項目・教材名	わらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	12 夢中になるのは悪いこと?	新聞記事を通して、望ましい生活習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	1 自分の自由な時間について振り返る。 2 「夢中になるのは悪いこと?」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(2)節度、節制】		★携帯電話やスマートフォンを使うときには、どんな心構えが必要だろう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」の4コマ漫画を見て考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	12 深めたいむ	職場体験で、職人の礼儀にふれた二人の生徒の物語を通して、礼儀の意味について考えさせ、心の籠もった適切な言動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。	★礼儀には、どのような意味があるのだろうか。 1 職場体験の礼儀について考える。 2 「秀さんの心」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(7)礼儀】		★働くことには、どんな意味があるのだろうか。 1 人は何のために働くのか、これまでに考えてきたことを振り返る。 2 「段ボールベッドへの思い」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
13 秀さんの心	災害の避難者の健康を考えて段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公表した会社の人の話を通して、人にとって働くことにはどんな意味があるのかを考えさせ、人や社会のために働くこうとする実践意欲と態度を育てる。	★働くことには、どんな意味があるのだろうか。 1 人は何のために働くのか、これまでに考えてきたことを振り返る。 2 「段ボールベッドへの思い」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。	
【C(13)勤労】		★働くことには、どんな意味があるのだろうか。 1 人は何のために働くのか、これまでに考えてきたことを振り返る。 2 「段ボールベッドへの思い」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。	
14 段ボールベッドへの思い			
10月	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	夏祭りで父のゆかたを着ることになったことをきっかけに、日本の伝統文化である和服について興味をもった話を通して、伝統や文化のよさについて考えさせ、それらを継承していこうとする心情を育てる。	★伝統を受け継ぐとは、どういうことだろう。 1 日本の伝統や文化といえれば何を思い浮かべますか。 2 「一枚の布から」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	15 一枚の布から		★伝統を受け継ぐとは、どういうことだろう。 1 日本の伝統や文化といえれば何を思い浮かべますか。 2 「一枚の布から」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	なんだろう なんだろう「ゆるす」って、なんだろう。 【関連する内容項目】B(6)思いやり、感謝 B(9)相互理解、寛容		家庭学習や朝の読書の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、「ゆるす」とは何なのか、考えてみる。
	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	新潟県村上市の、郷土の祭りや町並みなどに対する生徒の思いを通して、故郷を思う心について考えさせ、郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする実践意欲と態度を育てる。	★ふるさとを思う心について、考えよう。 1 自分の住む地域の特色や地域行事などについて考える。 2 「私の町」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	16 私の町		★ふるさとを思う心について、考えよう。 1 自分の住む地域の特色や地域行事などについて考える。 2 「私の町」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(5)真理の探究、創造】	東京スカイツリーの設計士の、物事を追求する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせ、真理を探究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てる。	★新しいものを生み出していくときに大切なことは、何だろう。 1 スカイツリーについて、知っていることを出し合う。 2 「スカイツリーにかけた夢」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
17 スカイツリーにかけた夢	★新しいものを生み出していくときに大切なことは、何だろう。 1 スカイツリーについて、知っていることを出し合う。 2 「スカイツリーにかけた夢」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。		
【C(10)遵法精神、公德心】	「好きな案」と「みんなにとって望ましい案」をどう捉えるかについての説明文を通して、集団や社会の中で合意形成するとき、大切にすべきことについて考えさせ、法を遵守し、公德を重んじようとする判断力を育てる。	★集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは、何だろう。 1 クラスで何かを決定するとき、どんな方法で決定しているかを思い起こす。 2 「民主主義と多数決の近くて遠い関係」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。	
18 民主主義と多数決の近くて遠い関係		★集団や社会で何かを決めようとするときに大切なことは、何だろう。 1 クラスで何かを決定するとき、どんな方法で決定しているかを思い起こす。 2 「民主主義と多数決の近くて遠い関係」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。	
【C(10)遵法精神、公德心】		★複数の人と話し合っって何かを決めることの意義や効果について、考えを深めよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」を読み、活動する。 3 「学びの記録」に記入する。	
18 深めたいむ		★複数の人と話し合っって何かを決めることの意義や効果について、考えを深めよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」を読み、活動する。 3 「学びの記録」に記入する。	
11月	【B(9)相互理解、寛容】	昔話の「桃太郎」と、鬼の子供の立場から桃太郎を捉えた詩を通して、考え方や立場の異なる者どうしが理解し合うことについて考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする心情を育てる。	★異なる考え方や立場の人どうしが理解し合うには、どうすればよいのだろうか。 1 考え方が異なることで、誰かと対立した経験を想起させる。 2 『『桃太郎』の鬼退治』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	19 「桃太郎」の鬼退治		★異なる考え方や立場の人どうしが理解し合うには、どうすればよいのだろうか。 1 考え方が異なることで、誰かと対立した経験を想起させる。 2 『『桃太郎』の鬼退治』を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(18)国際理解、国際貢献】	川の両岸に住む肌の色や髪の毛、服装が異なる少女と少年の物語を描いた文章を通して、他国の人々や文化を理解するとともに、互いに尊重し合い、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	★他国の人と理解し合うために大切なのは、どんな心だろう。 1 差別や偏見の意識について共有する。 2 「むこう岸には」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
20 むこう岸には	★他国の人と理解し合うために大切なのは、どんな心だろう。 1 差別や偏見の意識について共有する。 2 「むこう岸には」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。		
【D(20)自然愛護】	富士山のガイドをする近藤光一さんが自身の活動や思いについて述べた文章を通して、自然を守るために大切なことについて考えさせ、自然を愛し守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自然を守るとは、どういうことだろう。 1 富士山に対するイメージや自然からもたらされる恵みについて共有する。 2 「僕の仕事場は富士山です」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。	
21 僕の仕事場は富士山です		★自然を守るとは、どういうことだろう。 1 富士山に対するイメージや自然からもたらされる恵みについて共有する。 2 「僕の仕事場は富士山です」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。	
12月	【D(21)感動、畏敬の念】	天文学者の大内正己さんが、新しい天体を発見したときの思いや、宇宙との出会いについて述べた文章を通して、「感動する心」を見つめさせ、自然や崇高なもの	★「感動する心」を見つめよう。 1 ヒミコの想像図を見て、感想を出し合う。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	22 宇宙の始まりに思いを寄せて	に対して感動する心を大切に生きていく心育を育てる。	2 「宇宙の始まりに思いを寄せて」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 23 つながる命	脳死となった女児の両親が、女児の臓器提供を決断したことを取り上げた新聞記事を通して、「命」について考えさせ、生命を尊重しようとする心育を育てる。	★「命」とは、どういうものだろう。 1 臓器移植について確認する。 2 「つながる命」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(3)向上心, 個性の伸長】 24 優しさの光線	将来の夢が見えず、自信を失っている生徒の心を描いた物語を通して、自分の「よさ」について考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする心育を育てる。	★自分の「よさ」を見つめよう。 1 将来について考えたときのことを振り返る。 2 「優しさの光線」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
1月	【D(22)よりよく生きる喜び】 25 人って、本当は?	孟子の「性善説」と荀子の「性悪説」を通して、人のもつ強さや弱さ、自分のよりよく生きる道について考えさせ、よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★人のもつ強さや弱さを考えながら、自分のよりよく生きる道について、考えよう。 1 人間の心には、どんな面があるかを考える。 2 「人って、本当は？」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気, 克己と強い意志】 26 夢の力	困難を乗り越えながら、次々に夢をかなえていった二條実徳選手の文章を通して、今の自分と向き合い、夢や目標の達成に向け、希望と強い意志をもって、生きていく実践意欲と態度を育てる。	★夢をもつことは、人生を、どう変えていくのだろうか。 1 どのような夢や目標があるかを振り返る。 2 「夢の力」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気, 克己と強い意志】 26 深めたいむ		★目標を達成するために大切なことについて、考えよう。 1 前時の学びを振り返る。 2 「深めたいむ」(教科書P.139)を読む。 3 「学びの記録」に記入する。
2月	【A(3)向上心, 個性の伸長】 27 嫌われるのを恐れる気持ち	他人に嫌われることを恐れ、本心を表に出せないことに悩む生徒の相談を通して、いろいろなものの見方や考え方を理解しながら、自らを高めていくことの大切さについて考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする判断力を育てる。	★自らを高めていく生き方とは、どんな生き方だろう。 1 自分の性格を嫌だと思ったことがあるか、どんなところが嫌かを振り返る。 2 「嫌われるのを恐れる気持ち」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【B(6)思いやり, 感謝】 28 気づかなかったこと	人々の嫌な面ばかりを見ていた生徒が、周りにあふれる思いやりに気づく姿を描いた漫画を通して、日々の生活で人と接するときに大切なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもって行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。	★日々の生活で、人と接するときに大切なことは、何だろう。 1 人の悪いところに目が向いてしまうときについて考える。 2 「気づかなかったこと」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【C(11)公正, 公平, 社会正義】 29 クロスプレー	草野球の審判を引き受けた警官と子供たちとのやり取りを描いた物語を通して、公正な心をもつことの大切さについて考えさせ、正義と公正、公平さを重んじようとする心育を育てる。	★公正な心をもつとは、どういうことだろう。 1 公正な行動ができているか、普段の生活を振り返る。 2 「クロスプレー」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
3月	【D(19)生命の尊さ】 30 泣きすぎたはいけない	亡くなった祖父から孫へのメッセージを通して、「生きる」ということについて考えさせ、生命を尊重しようとする心育を育てる。	★「生きる」ということについて、考えよう。 1 「生きる」とはどういうことかを考える。 2 「泣きすぎたはいけない」を読んで考える。 3 「学びの記録」に記入する。
	【内容項目を限定しない】 31 道徳の学びを振り返ろう	「1 道徳の授業を始めよう!」や「学びの記録」を見て1年間の道徳授業を振り返り、これからの生き方を見つめ、伏野さんの「自分のルール」を参考に自分でもルール作りをする活動を通して、自分を見つめ、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の学びを振り返り、「自分のルール」を作ろう。 1 本時の目的を確認する。 2 1年間の学びを振り返り、自分のルールを作る。 3 「学びの記録」に記入する。

令和8年度 特別の教科道徳 年間指導計画 3年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ ★ ・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の学習を始めよう	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳科の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 中学2年ときの道徳の学習を振り返る。 2 資料を読んで、これからの道徳授業の見通しをもつ。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(3)向上心、個性の伸長】 2 がんばれおまえ	好きな少女の前で、本当の自分をさらけ出せないと悩む少年の物語を通して、「自分」を見つめさせ、かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとする心情を育てる。	★自分を見つめよう。 1 これまでの自分を振り返る。 2 「がんばれ おまえ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(2)節度、節制】 3 「こち亀」は、四十年間休みなし	漫画家・秋本治さんが「時間術」について書いた文章を通して、望ましい生活習慣がもたらすものとは何かを考えさせ、よりよい生活習慣を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	★望ましい生活習慣がもたらすものとは、何だろう。 1 自分自身の生活習慣を振り返る。 2 『「こち亀」は、四十年間休みなし』を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
5月	【B(8)友情、信頼】 4 私がピンク色のキャップをかぶるわけ	水泳の全国大会をみざす生徒とそのライバルとの交流を描いた生徒作品を通して、友達とはどんな存在かを考えさせ、互いに高め合うことのできるような人間関係を築いていこうとする心情を育てる。	★友達とは、どんな存在なのだろう。 1 「友達」や「親友」の意味について共通理解する。 2 「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(7)礼儀】 5 礼儀正しさとは	礼儀正しい言葉遣いやしぐさを書き出したり、柔道・大野将平選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しさは、人に何を伝えるかを考えさせ、礼儀に込められた相手を尊重する心を大切に、その礼儀を表そうとする心情を育てる。	★礼儀正しさは、人に何を伝えるのだろう。 1 日常生活にある「礼儀正しい姿」を、マップに書き出し、思い起こす。 2 「礼儀正しさとは」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 6 「リクエスト食」に込められた思い	「リクエスト食」に取り組むホスピスの話を通して、命を大切にすることはどういうことかを考えさせ、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。	★命を大切にすることは、どういうことだろう。 1 ホスピスでの取り組みを知り、人としての尊厳や生きがいについて考えることを共有する。 2 『「リクエスト食」に込められた思い』を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
6月	【C(11)公正、公平、社会正義】 7 小さな出来事	自分が行った不正な振る舞いを回想する人物を描いた魯迅の小説を通して、人々のどんな考え方が公正な社会を作るのかを考えさせ、正義と公正さを重んじる心情を育てる。	★公正な社会をつくるのは、人々のどんな考え方だろう。 1 公正、公平に行動できなかった経験を振り返る。 2 「小さな出来事」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 8 三年目の「ごめんね」	修学旅行中、周囲になじめない同級生に一度は声をかけ、いっしょに行動し始めたものの、友人の目を気にして声をかけるのをやめた主人公の姿を通して、自分で考え、誠実に行動することはどうして大切なのかについて考えさせ、誠実で責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。	★自分で考え誠実に行動することは、どうして大切なのだろう。 1 友達との出来事で、何年たっても忘れられない経験を振り返る。 2 「三年目の『ごめんね』」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 9 アイツとオレ（まなびをプラス）	対照的な性格の二人の生徒の姿を描いた漫画を通して、他者とわかり合うために必要なことは何かを考えさせ、他者と相互に理解し合い、高め合おうとする心情を育てる。	★他者とわかり合うために必要なことは、何だろう。 1 自分のことを理解してもらえた・理解してもらえなかったと実感した経験を想起する。 2 「アイツとオレ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 10 私たちの合唱祭	合唱祭の在り方についての解決策を検討することを通して、よりよい学校をつくるために大切なこととは何かを考えさせ、学級や学校の一員として、学校生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★よりよい学校をつくるために大切なことは、何だろう。 1 自分たちの学校のよさや学校行事のよいところについて考える。 2 「私たちの合唱祭」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
7月	【B(6)思いやり、感謝】	末期がんの善さんと看護師さんたちとのやり取りが描かれた文章を通して、人が	★人が人を思うとは、どういうことだろう。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	11 言葉が見つからないとき	人を思うとは、どういうことかを考えさせ、多くの人々の善意により自分があることに感謝し、進んでそれに応えようとする心情を育てる。	1 親切にして相手を助けたり、思いやりに触れて助けられたりした経験がないかを振り返る。 2 「言葉が見つからないとき」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(20)自然愛護】 12 タコをたどって見えるもの	身近な食材であるタコについての資料などを通して、自然を大切にしながら生活していくためにはどんな考えが必要かを考えさせ、自分たちの生活とつながっている自然環境を、進んで守っていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自然を大切にしながら生活していくためには、どんな考えが必要だろう。 1 食材としてのタコが自分たちの生活でどのように使われているかを共有する。 2 「タコをたどって見えるもの」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
9月	【A(3)向上心、個性の伸長】 13 自分を輝かせるには	陸上選手の田中希実さんらの「自分を輝かせる言葉」を通して、自己を見つめ、個性をよりよい方向に伸ばして自分らしく生きるためのヒントを手に入れ、自己を向上させ、充実した生き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。	★自分を輝かせる言葉を通して、自分を見つめ、自分らしく生きるためのヒントを手に入れよう。 1 (まなびの準備) 自分を輝かせる言葉を探し、記入する。 2 「自分を輝かせるには」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(13)勤労】 14 働く姿から見えるのは?	水族館を動かしている、さまざまな職種に従事する人たちの仕事への思いを通して、一人一人のどんな働く姿勢が社会や組織を動かしているのかを考えさせ、将来、働くことを通して社会や組織に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	★一人一人のどんな働く姿勢が、社会や組織を動かすのだろう。 1 例えば水族館(動物園やスーパーなどでも可)には、どんな種類の仕事があるか、予想する。 2 「働く姿から見えるのは?」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(21)感動、畏敬の念】 15 サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い	ガウディが設計したサグラダ・ファミリアの建設に携わる外尾さんの姿を通して、人は、どんなものに心を動かされるのかを考えさせ、時を超えてつながる思いや美しいもの、気高いものを感じる心を大切にできる心情を育てる。	★人は、どんなものに心を動かされるのだろう。 1 サグラダ・ファミリアについて知る。 2 「サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 16 「きみは赤ちゃん」より	出産を経た筆者が、生まれてきた子への思いをつづった文章を通して、命について考えさせ、「産む」ことと「生まれる」ことから、かけがえのない命を尊重する心情を育てる。	★命について、考えよう。 1 教師が、自分自身が生まれたときのエピソードを語る。 2 「『きみは赤ちゃん』より」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
10月	【C(10)遵法精神、公德心】 17 漫画泥棒	漫画の紙面をSNS上で紹介しようと思っていた「私」が映画の無断投稿について考える話を通して、他者の権利を守るために大切なのはどんなことかを考えさせ、自他の権利を大切に、規律ある社会の実現をみざす判断力を育てる。	★他者の権利を守るために大切なのは、どんなことだろう。 1 映画館にある「NO MORE 映画泥棒」のCMやポスターを目にしたことがあるか尋ねる。 2 「漫画泥棒」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 18 インターネットの中の社会で(まなびをプラス)	SNS上の「炎上」を扱った教材を通して、インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要かを考えさせ、自律を重んじ、自分の言動に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。	★インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要だろう。 1 インターネット上での書き込みに関わる経験について振り返る。 2 「インターネットの中の社会で」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 19 家族って? 家庭って?	さまざまな家族の形を知ることを通して、家族とはどのようなものかを考えさせ、自分なりの理想の家族を思い描きながら、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。	★家族とは、どのようなものだろう。 1 「家族」に対するイメージを出し合う。 2 「家族って? 家庭って?」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 20 好いとっちゃん、博多	郷土を愛し、その発展に尽力した西島伊三雄さんの思いや願いについて書かれた文章を通して、郷土を愛する心について考えさせ、地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする心情を育てる。	★郷土を愛する心について、考えよう。 1 自分の故郷の伝統や文化について振り返る。 2 「好いとっちゃん、博多」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
11月	【C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	照明デザイナーの石井幹子さんが日本の光文化について語った文章を通して、日	★日本の文化を知り、継承することの意味を考えよう。 1 日本の家屋特有だと思えるものを出し合う。

月	内容項目・教材名	わらい	学びのテーマ(★)・学習活動
	21 障子あかり	本の文化を知り、継承することの意味を考えさせ、優れた伝統と新しい文化を創造していこうとする心情を育てる。	2 「障子あかり」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(12)社会参画、公共の精神】 22 一票を投じることの意味	選挙に関心をもち始めた生徒を描いた物語と、選挙の意味について書かれた説明文を通して、よりよい社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、社会の問題に目を向け、社会参画への意識を高めようとする実践意欲と態度を育てる。	★よりよい社会を実現するために大切なことは、何だろう。 1 自分が18歳になったら選挙に行くかどうか、考えを出し合う。 2 「一票を投じることの意味」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(22)よりよく生きる喜び】 23 足袋の季節	おばあさんのつり銭をごまかし、それを償うことができなかつた後悔の念を語る随筆を通して、人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考えさせ、自分の弱さと向き合い、誇りをもって生きようとする心情を育てる。	★人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について、考えよう。 1 誰もがもっている弱さや醜さについて、自分の生活を振り返って考える。 2 「足袋の季節」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 24 希望のカレンダー	「希望学」を研究している筆者が、東日本大震災後、被災地にカレンダーを届けたエピソードを通して、「希望」は、私たちにどんな力を与えるのかについて考えさせ、人間としてよりよく生きるために希望の価値を見いだそうとする判断力を育てる。	★「希望」は、私たちに、どんな力を与えるのだろうか。 1 カレンダーを普段どのように使っているか振り返る。 2 「希望のカレンダー」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
12月	【C(11)公正、公平、社会正義】 25 ぼくの物語 あなたの物語	黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、正義を重んじ、差別や偏見をなくすための判断力を育てる。	★差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは、何だろう。 1 社会に存在する差別や偏見について考え、それについての疑問や考えを出し合う。 2 「ぼくの物語 あなたの物語」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(11)公正、公平、社会正義】 26 あってはならない違い(まなびをプラス)	生活の中にある「さまざまな違い」を通して、「あってはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのかを考えさせ、公正、公平な考え方をもち、よりよい社会をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	★「あってはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのだろう。 1 身近な生活や社会において「これは公平だろうか」と疑問をもったことについて出し合う。 2 「あってはならない違い」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 27 ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞	見えない人と楽しむ美術鑑賞について書かれた文章を通して、社会で他者と共に生きていくためにはどんなことが大切かを考えさせ、人には、それぞれの個性に根ざしたものの見方や考え方があることを理解し、互いの個性を尊重しながらよりよい社会を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★社会で他者と共に生きていくためには、どんなことが大切なのだろう。 1 「共生」という言葉に対する自分のイメージを明らかにする。 2 「ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
1月	【A(5)真理の探究、創造】 28 鉄腕アトムをつくりたい ——人工知能研究は人間探究	人工知能研究にかける筆者の経験や思いをつづった文章を通して、真理を探究する心について考えさせ、真理や真実を求め、好奇心をもって探究し続ける心情を育てる。	★真理を探究する心について、考えよう。 1 「人工知能」について意見交換をする。 2 「鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 29 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、寛容の心とはどんな心かについて考えさせ、人間のもつ醜さや乗り越え、「許す」ことの難しさを理解しようとする心情を育てる。	★了海と実之助、それぞれの人物の視点を通して、人の心のありようについて、考えよう。 寛容の心とは、どんな心だろう。 1 誰かを許した経験や、許せなかつた経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(22)よりよく生きる喜び】 29 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、自分の弱さと向き合うとはどういうことかを考えさせ、人間がもつ、苦しみや良心の責めと向き合いながら生きようとする心情を育てる。	★了海と実之助、それぞれの人物の視点を通して、人の心のありようについて、考えよう。 自分の弱さと向き合うとは、どういうことだろう。 1 自分の弱さを感じた経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動
2月	【C(18)国際理解、国際貢献】 30 希望の義足	ルワンダの内戦で負傷した人々に義足を提供するプロジェクトを立ち上げた吉田真美さんらの活動について書かれた文章を通して、他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国の人々を尊重し、国際貢献に努めようとする実践意欲や態度を育てる。	★他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何だろう。 1 自分たちが知っている、国際協力の分野で活躍している日本人について挙げる。 2 「希望の義足」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 31 私の再出発	78歳で夜間学級に入学し、81歳で卒業した後も学び続けようと思意する見目律子さんの作文を通して、自分を高めていくことについて考えさせ、目標をもって学び、困難を乗り越えて、よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分を高めていくことについて、考えよう。 1 自分は何のために学校に通っているか、考える。 2 「私の再出発」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(5)真理の探究、創造】 32 「学び」の本質を探ろう(まなびをプラス)	教科書に示された九つの問いをヒントに、他者と語り合うことを通して「学び」の本質を考えさせ、「学び」を探究することで人生を切り拓いて生きていこうとする判断力を育てる。	★「学び」の本質について友達といっしょに考え、自分の生き方を豊かにすることにつなげよう。 1 学ぶことについて、普段どのように思っているかを出し合う。 2 『「学び」の本質を探ろう』を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
3月	【D(19)生命の尊さ】 33 命と向き合う	生命誌研究者の中村桂子さんによる、命に関する文章を読み、話し合うことを通して、生命の尊さについて考えさせ、生命を尊ぶ実践意欲と態度を育てる。	★命の尊さについて、考えよう。 1 「生命の尊さ」についての、これまでの学びを振り返る。 2 「命と向き合う」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【内容項目を限定しない】 34 一年間の学びを振り返ろう	これまでに記入した「まなびの記録」や「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞をもとに、1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★この1年間で学んだことを振り返ろう。 1 第1教材を見ながら、本時の目的を確認する。 2 「まなびの記録」を見返し、1年間の道徳の授業を振り返る。 3 未来の自分に手紙を書く。 ○次の「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞に込められた思いを想像しながら、自分が大切にしていきたいと思ったことを、未来の自分に伝える手紙に書きましょう。

令和8年度 生活指導部 生徒指導の方針と重点

1 喜多見中学校の現状

- (1) 小学校から人間関係が形成されお互いを理解し合えている。反面、役割が固定されたり、過去の人間関係に影響されることも多い。
- (2) 校内での大きなトラブルは少なく、生徒の自治意識や全教職員の指導が浸透してきている。今後もさらに、生徒の自治力や教職員の一体した指導を行っていききたい。
- (3) 教員と生徒の関わりについては、比較的関わりができていっているように思える。継続して、あいさつや日常会話から面談、聞き取りなど関わりを深めていく工夫をしていきたい。
- (4) 日直や係・委員会活動などの基本的な活動は丁寧に行うことができている。また、少しずつ主体的な活動をする場面が増え、今後も新たな計画や取組の継続が期待される。

2 生活指導方針

- (1) 安全で、誰もが安心した学校生活のできる教育環境をつくる。
- (2) 全教職員が、指導方針のもと、共通した指導実践を行う。
- (3) 一人ひとりの生徒と真剣に向き合い、生徒理解・生徒指導を行う。
- (4) 中学生としての自覚ある行動を引き出し、自主的・自治的な活動を行う。
- (5) 「手応え」のある未然防止型の指導を行う。

3 指導の重点

- (1) 安全で、安心した学校生活のできる教育環境をつくる。
 - ・学校生活における基本的な生活習慣、生活態度を身に付けさせ、心身ともに健康な学校生活をつくる。
 - ・人権尊重の精神を基盤に、いじめや差別感のない学校の雰囲気を作る。
 - ・全教職員が協力し、生徒が安全に、秩序ある学校生活を送れるように努める。
 - ・継続的に SNS トラブル防止・タブレットルールの啓発を行う。
- (2) 全教職員が、共通した指導方針のもと、指導の実践を行っていく。
 - ・問題行動には未然防止型の指導で臨む。生徒の言動や情報で、事前に問題行動の発見に努めるとともに間違った行動や不正、反社会的行動等は見逃す事なく正しく指導する。
 - ・生活指導部会・学年会・職員会議・職員朝会等を活用して情報交換を密にし、全教職員が生徒の状況を把握し、共通理解のもとに指導する。
 - ・三者面談等の機会は大切にし、保護者および地域の理解に努める。
- (3) 一人ひとりの生徒と真剣に向き合い、生徒理解・生徒指導を行っていく。
 - ・生徒との心のふれあいを大切にし、生徒理解を深めるとともに、厳しくも愛情あふれる指導に努める。
- (4) 中学生としての自覚ある行動を引き出し、主体的・自治的な活動を行っていく。
 - ・生徒会活動、学級活動、部活動、諸活動を通じて、生徒の自主的・自治的能力を育て明るく活気ある生徒集団をつくる。

令和8年度 安全指導年間計画

1 避難訓練について

(1) 目的

火災、震災等の災害発生時において、自他の生命の保全と危険に直面した時、自他の安全を図り、臨機応変に物事を処理する判断力や態度、技能の素地を作る。

(2) 年間計画 ※実施要項確認

月/日(曜)	内 容	行 動 予 定
4月16日(木)	緊急時の避難経路の確認	避難経路、集合隊形、点呼、報告方法の確認 ヘルメット装着
4月27日(月)	不審者対応訓練	不審者対応訓練 教員研修
5月14日(木)	地震	机下避難 校庭集合・点呼
6月18日(木)	火災	校庭集合・点呼
7月13日(月)	地区班確認	地区班確認
防災の日 9月1日(火)	地震 引き取り訓練	机下避難 保護者による引き取り訓練
10月7日(水)	火災発生 第2理科室より出火	少人数の授業から避難など・校庭集合・点呼
11月19日(木)	地震	机下避難 校庭集合・点呼
12月16日(水)	地震・火災	机下避難・廊下整列・点呼(経路の確認)
1月19日(火)	地震	昼休み中の地震・机下避難 校庭集合
2月9日(火)	地震による火災 調理室より出火	昼休み中の火災 経路が閉鎖されている場合
3月4日(木)	(予告なし訓練) 地震による火災 給食室より出火	昼休み中の火災 校庭集合(経路の確認)

2 安全指導について

(1) 目的

日常生活において安全に生活するために、また、火災・地震等の災害発生時や交通関係による危険に直面した時、自他の安全を図り、臨機応変に物事処理できる判断力や態度、技能の素地を作る。

(2) 年間計画

月/日(曜)	内 容	行 動 予 定
4月9日(木)	「生活のきまり」について	「喜多見中の生活」プリント配布 学校の決まりや理念について
5月11日(月)	登下校の安全について	正門前横断について 通学路の安全不審者対策について
6月8日(月)	登下校時の経路確認 災害発生時の避難	登下校経路確認 登下校時の危険場所確認 不審者に対する取るべき行動
7月17日(金)	夏休みの交通安全 夏休みのしおりにより指導	夏休みの交通安全 夏休みのしおりにより指導
9月1日(火)	校内生活の安全について	校内危険箇所の確認 不審者への対応 校内生活上のケース別避難について
10月5日(月)	登下校の安全について	登下校中の交通安全
11月2日(月)	冬季におけるエアコン・加湿器の取り扱いについて	エアコン・加湿器取り扱い等の注意
12月25日(金)	冬休みの過ごし方について	「冬休みの生活の過ごし方」プリント配布・指導
1月8日(金)	校内生活の安全について	廊下・教室等での危険行為についての指導 教室の換気について(感染症予防)
2月8日(月)	自転車の乗り方	歩行者の通行を妨げない 危険な乗り方をしない 交通マナーを守る
3月8日(月)	卒業式に向けて	卒業式の心構え 服装について
3月26日(木)	春休みの過ごし方について	「春休みの生活の過ごし方」プリント配布・指導

(3) その他

- 4月30日(木) いじめ防止プログラム(1学年)
- 6月18日(木) ネットリテラシー醸成講座(1学年)
- 11月6日(金) セーフティ教室(1学年)

令和8年度 学校保健計画

1 学校保健目標

①積極的に自己管理能力を高めようとする力を育む ②自他の生命をかけたがえのないものとして大切にできる力を育む。

2 年間計画一覧

月		4	5	6	7・8	9
保健目標		自分の健康状態を把握しよう	自分の健康状態の保持増進に努めよう	歯の健康に関心をもとう	夏を健康に過ごそう	生活のリズムを整えよう
学校保健 関連行事		・定期健康診断(身体計測、内科、心臓、腎臓1次、結核検診) ・応急救命救急講習(教員)	・定期健康診断(内科、眼科、腎臓2次・予備、歯科) ・運動会	・定期健康診断(耳鼻科、色覚) ・水泳指導	・水泳指導 ・大掃除	・生活習慣予防検診 ・セーフティ教室 ・宿泊行事事前健診 ・修学旅行
保健 管理	環境	・感染症者数把握 ・嘔吐処理セット設置	・感染症者数把握	・感染症者数把握	・感染症者数把握	・感染症者数把握
	生活	・定期健康診断計画・実施 ・受診勧告 ・保健調査票	・受診勧告 ・事後措置 ・熱中症対策	・受診勧告 ・事後措置 ・熱中症対策	・保健室物品点検 ・熱中症対策	・熱中症対策
保健 教育	保健 指導	・保健室の利用方法 ・健康診断の目的	・世界禁煙デー(5/31-6/6) ・熱中症対策指導	・水泳時の健康管理指導 ・歯の衛生週間(6/4-6/10)	・鼻の日(8/7) ・夏休みの過ごし方	・救急の日(9/9) ・結核予防週間(9/24-9/30)
	生徒会 活動	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放送 ・ハンカチチェック	・保健給食委員会 ・石鹸補充 ・食育放送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放送 ・ハンカチチェック
個別指導		・来室者対応 ・不登校者支援 ・生活習慣指導 ・発育発達に関する指導 ・相談 ・疾病の対応 ・学校生活管理指導表				

月		10	11	12	1	2	3
保健目標		目の健康に注意しよう	正しい姿勢を心がけよう	感染症の予防をしよう	教室の喚起に気をつけよう	心の健康について考えよう	1年間の健康生活を振り返ろう
学校保健 関連行事		・陸上競技大会 ・河口湖移動教室	・第1回新入生保護者説明会	・大掃除		・学習成果展覧会 ・第2回新入生保護者説明会	・大掃除 ・学校保健委員会
保健 管理	環境	・感染症者数把握	・感染症者数把握	・感染症者数把握	・感染症者数把握	・感染症者数把握	・感染症者数把握
	生活	・嘔吐処理セット点検	・感染症予防対策 ・出席停止解除願 い提出状況確認	・感染症予防対策 ・出席停止解除願 い提出状況確認	・感染症予防対策 ・出席停止解除願 い提出状況確認	・感染症予防対策 ・出席停止解除願 い提出状況確認	・次年度年間計画 作成 ・年度末反省
保健 教育	保健 指導	・目の愛護デー(10/10)	・いい歯の日(11/8)	・冬休みの過ごし方			・耳の日(3/3) ・年度末反省
	生徒 会 活動	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放 送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放 送・ハンカチチェ ック	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放 送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放 送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育放 送	・保健給食委員会 ・石鹸補充・食育 放送
個別指導		・来室者対応 ・不登校者支援 ・生活習慣指導 ・発育発達に関する指導 ・相談 ・疾病の対応 ・学校生活管理指導表					

令和8年度 食に関する指導の全体計画②

教科等		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等		入学式	運動会				合唱コンクール				学習成果展覧会	卒業式
推進体制	進行管理		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会	
	計画策定	計画策定										
教科・道徳 総合的な学習の時間	社会				日本の諸地域(九州)【2年】	日本の諸地域(中国・四国)【2年】	日本の諸地域(中国・四国)【2年】	日本の諸地域(近畿)【2年】、私たちの暮らしと経済【3年】	世界各地の人々の生活と環境、世界の諸地域(アジア)【1年】、日本の諸地域(近畿)【2年】、私たちの暮らしと経済【3年】	世界の諸地域(ヨーロッパ・アフリカ)【1年】、日本の諸地域(中部・関東)【2年】	世界の諸地域(北アメリカ・南アメリカ)【1年】、日本の諸地域(東北)【2年】	世界の諸地域(オセアニア)【1年】、日本の諸地域(北海道)【2年】
	理科		植物のなかま【1年】	植物のなかま【1年】	植物のなかま【1年】、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子【3年】	植物のなかま【1年】、自然界のつながり【3年】	植物のなかま【1年】、動物の体のつくりとはたらき【2年】	動物のなかま【1年】	動物のなかま【1年】			自然環境と人間【3年】
	技術・家庭						食生活と栄養【1年】、生物育成に関する技術【2年】	献立作りと食品の選択【1年】、幼児の生活と家族【3年】			調理と食文化【1年】	
	保健体育								食生活と健康【2年】			
	他教科		ダイコンは大きな根？【1年】	握手【3年】			学校の文化祭【1年】 伝統的和菓子のレプリカ作り【3年】	故郷【3年】				
	教科「日本語」						食べ物と自然【1年】	日本の発酵文化【1年】	未来に伝えていきたい日本の「食」【1年】	食器随想【3年】		
	道徳	各学年の状況に合わせて										
	総合的な学習の時間					大蔵大根栽培【1年】			器から考えるECO【2年】			生産者の話を聞く会【2年】
	学級活動・食育教材活用		スポーツと栄養の関係を知らう【2年】									
	生徒会活動	給食当番の健康チェック、給食時の呼びかけ 毎日の給食通信の放送 食育放送									健康な骨や歯を作ろう【1年】	
学校行事	健康診断		移動教室			職場体験	修学旅行				校外学習	学校保健委員会
給食の時間	給食指導	給食時間の過ごし方 ・準備、後片付けの仕方・協力体制 ・当番の身支度・手洗いの励行					準備・後片付けの仕方 ・給食当番と当番以外の効率的な動き			正しい食事マナー ・はし、食器の持ち方・会話の内容 ・食事のあいさつ		
	食に関する指導	朝食の大切さを見直そう 伝統的食文化(行事食・節句料理・郷土料理)・朝食・生活リズム 夏の食事(夏野菜・水分補給・夏バテ予防)					日本食を見直し良さを知らう(郷土の産物・郷土への関心) 食事のあいさつ、ノロウイルス バランスのよい食事(3食のバランス、寒さに負けない食事(風邪予防・冬至とかぼちゃ))			楽しい給食時間の過ごし方を考えよう(1年間の振り返り) 学校給食週間(歴史・伝統食と世界の料理) 生活習慣病予防		
学校給食の関連事項	月目標	マナーを守って楽しく 食事をしよう	朝食の大切さを知ろう	衛生、安全に気をつけよう	暑さに負けないための 食品を知ろう	環境について考えよう	バランスの良い食事を しよう	食べ物を大切にしよう	寒さに負けないための 食品を知ろう	献立に関心を持って 食べよう・日本の文化 を知ろう	健康と栄養を考えて食 べよう	1年を振り返ろう
	食文化の伝承	お花見献立	端午の節句献立	入梅献立	七夕献立	重陽の節句献立			冬至献立			
	行事食	入学進級祝い献立		カミカミ献立			お月見献立(十五夜・十三夜)	和食献立		正月料理・鏡開き	節分献立	桃の節句献立
	その他	世界の料理 郷土料理								給食週間行事献立		卒業祝い献立
	旬の食材	かぶ、キャベツ、菜の花、ふき、筍、さやえんどう、うど、いちご、清見オレンジ、河内晩柑、めばる、あさり、飛び魚、鯛、さより、桜えび、わかめ	人参、キャベツ、さやえんどう、もら豆、グリーンピース、アスパラガス、緑茶、じゃがいも、玉葱、びわ、メロン、飛び魚、鯉、しらす、蛸、あさり	人参、キャベツ、胡瓜、さやえんどう、玉葱、アスパラガス、じゃがいも、ブルーベリー、びわ、メロン、梅、プラム、さくらんぼ、パイナップル、鯛、鮎、いさぎ、太刀魚、鮎、飛び魚、蛸	オクラ、人参、南瓜、胡瓜、しそ、さやえんどう、トマト、西瓜、茄子、枝豆、じゃがいも、ちじく、鷹、はも、まかじき、メロン、さくらんぼ、プラム、パイナップル、ブルーベリー、鮎、鮎、穴子、鰻、太刀魚	小松菜、茄子、里芋、薩摩芋、栗、冬瓜、生姜、蓮根、人参、りんご、ぶどう、梨、いちじく、鷹、はも、まかじき、舌づらめ、かます、すすき、秋刀魚、昆布	小松菜、茄子、里芋、薩摩芋、栗、冬瓜、生姜、蓮根、人参、りんご、ぶどう、梨、いちじく、鷹、はも、まかじき、舌づらめ、かます、すすき、秋刀魚、昆布	キャベツ、蓮根、小松菜、人参、米、薩摩芋、里芋、きのこ類、梨、りんご、柿、マスカット、秋刀魚、鮎、鯛、鮎、かれい、はたはた	小松菜、ほうれん草、青梗菜、キャベツ、ねぎ、白菜、大根、ごぼう、春菊、きのこ類、人参、山芋、柿、りんご、西洋なし、秋刀魚、鮎、鯛、かれい、鯛、真鯛、ししゃも	キャベツ、生姜、白菜、大根、ねぎ、ごぼう、小松菜、ほうれん草、春菊、かぶ、人参、里芋、みかん、りんご、柚子、かき、鯛、甘鯛、ひらめ、わかさぎ、鯛、鮎、わかさぎ、帆立	人参、キャベツ、小松菜、春菊、大根、ねぎ、白菜、ほうれん草、かぶ、ブロッコリー、カリフラワー、みかん、ぼんかん、キウイフルーツ、柚子、ふく、ひらめ、鯛、鮎、わかさぎ、帆立	小松菜、ほうれん草、白菜、大根、春菊、ねぎ、三つ葉、明日葉、カリフラワー、いよかん、八朔、しらぬい、ひじき、鮎、あさり、蛸、めばる、蛤、わかさぎ、ほっけ
地場産物		キャベツ、じゃがいも、人参	キャベツ、じゃがいも、人参、玉葱、胡瓜			小松菜、茄子、冬瓜、りんご	小松菜、キャベツ、りんご	白菜、大根、人参、キャベツ、ねぎ、里芋、小松菜、ほうれん草	白菜、大根、ねぎ、小松菜、ほうれん草、人参、里芋、キャベツ	キャベツ、ねぎ、白菜、人参、大根、小松菜、ほうれん草	白菜、ねぎ、小松菜	
個別的な相談指導	面談Ⅱ								管理指導表配布		管理指導表提出	面談Ⅰ
家庭・地域との連携	積極的な情報発信(自治体広報誌、ホームページ)、関係者評価の実施、公民館活動、地域ネットワーク(人材バンク)等の活用											
	学校だより、食育(給食)だより、保健だよりの発行 ・朝食の大切さ・運動と栄養・食中毒予防・夏休みの食生活・食事の量				・地元野菜の特色・地場産物のよさ・日本型食生活のよさ				・バランスのとれた食生活・心の栄養			
										学校保健委員会		

令和8年度 キャリア教育 全体計画 喜多見の学び舎 世田谷区立喜多見中学校

地域の実態

多摩川の近くにあり、自然に恵まれた地域で、畑作をする農家もある。学校の教育活動にも協力的である。

学校の教育目標

自ら考え、自ら学び、主体的に生きる生徒の育成

- 1 より深く学ぶ(生徒を育てる)。
- 2 勇気と思いやりをもつ(生徒を育てる)。
- 3 健康で明るい(生徒を育てる)。

生徒の実態

- ・健康的で明るい。
- ・素材で素直。
- ・思いやりがあり優しい。
- ・自主性がやや弱く、指示を待つ傾向がある。

キャリア教育の目標

社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。

肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

		1年	2年	3年			
目標(各学年)		様々な活動をとおして、自己を見つめ自己のキャリア形成について関心を高め、進んで将来の計画を立てられる生徒を育成する。	体験的な活動での情報を積極的に取り入れ、人として生き抜く力を身に付けられる生徒を育成する。	将来の生き方を考え、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現しようとする生徒を育成する。			
基礎的 ・汎用的 能力	人間関係形成 ・社会形成能力	自分の良さや個性が分かり、自己と他者の違いに気づき、尊重する。	自分の言動、行動が他者に及ぼす影響がわかり、互いに支えながら仕事をする。	他者に配慮しながら、積極的に人間関係を構築する。			
	自己理解 ・自己管理能力	よりよい集団活動のため、自分の役割や活動の進め方が分かる。	社会の一員としての自覚をもち、自分の果たすべき役割を考える。	社会と自己の関わりから自分の特徴に気づき、自分らしい生き方を考える。			
	課題対応能力	学習や活動の過程を振り返り、次の場面に活かそうとする。	課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。	より良い生活や学習、進路や生き方を目指し、自ら課題を見だし、その達成に向けて努力する。			
	キャリア プランニング能力	将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心を高める。	体験活動等をとおして、勤労への意欲や働く人々の思いを理解する。	自己の個性、興味や関心に基づき、より良い進路選択を実現しようとする。			
各教科		<ul style="list-style-type: none"> ・適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力を養う。 ・主体的な課題解決能力を習得する。 					
特別の教科 道徳		<ul style="list-style-type: none"> ・生き方について学び、自己理解と自己実現に必要な態度や能力を育成する。 ・勤労の尊さや働く喜びを理解し、奉仕の精神や地域社会の一員としての自覚をもつ。 					
特別活動		<ul style="list-style-type: none"> ・人として生き方についての自覚を深め、自己を活かす能力を育成する。 ・集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする態度を育成する。 					
総合的な学習・日本語		<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動をとおして、自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成する。 ・学び方やものの考え方を身に付け、探究活動に主体的・創造的・協働的に取り組む態度を育成する。 					
キャリア・パスポートの活用		<p>朝の時間の「モーニングキャリア」を活用し、定期的に自分のことを往還する。</p> <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・職業調べ等 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・上級学校訪問、職場体験等 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・訪問授業、進路学習等 </td> </tr> </table>			<ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・職業調べ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・上級学校訪問、職場体験等 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・訪問授業、進路学習等
<ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・職業調べ等 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・上級学校訪問、職場体験等 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年始、学期ごとの振り返り ・行事、その他の体験学習 ・訪問授業、進路学習等 					

令和8年度 キャリア教育 年間指導計画 1 学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第1学年のテーマおよび年間指導計画

「自分の良さに気づく」

様々な活動をとおして、自己を見つめ自己のキャリア形成について関心を高め、進んで将来の計画を立てられる生徒を育成する。

月	内容	活動
4	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になって (作文) ・キャリアパスポート (学年初め) 	キャリアパスポートなどを活用し自己理解を深め、表現する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の方法と計画 ・行事への取り組み (運動会) 	効果的な学習を実践するために計画を立てる。自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルトレーニング 	相手の立場を考えながら、適切な言葉で自分の考えや気持ちを伝える。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の生活のまとめ ・キャリアパスポート (学期末) ・夏休みの生活の仕方 ・職業調べ 	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。様々な職業について調べ、働くことの意義を理解し、自分の興味・関心と関連づけながら将来について考える。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア学習 (職業調べ発表) 	調べた職業を発表するとともに、他者の発表を通して多様な考えに触れ、自らの考えを深める。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・行事への取り組み (合唱コンクール) ・行事への取り組み (移動教室) 	自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を知る 	自分の興味・関心や得意なことに気づき、自己理解を深める。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポート (学期末) 	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の反省と抱負 ・キャリア学習 ・社会人の話を聞く会 ・キャリアパスポート (学年末) 	これまでの学びを整理し、今後の目標や生活に生かす。社会人の話を聞き、働くことの意義ややりがいについて理解を深める。講和を通して、自分の将来や生き方について考えをもつ。キャリアパスポートを活用し、1年間の活動を振り返り、自分の成長や良さ、課題に気付く。

令和8年度 キャリア教育 年間指導計画 2学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第2学年のテーマ

○テーマと目標

「自分の良さを活かす」

体験的な活動での情報を積極的に取り入れ、人として生き抜く力を身に付けられる生徒を育成する。

月	テーマ	活動
4	2年生になって (作文) 2年生の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートなどを活用し自己理解を深め、表現する。
5	学習の方法と計画 運動会 (キャリアパスポート)	効果的な学習を実践するために計画を立てる。 自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	職場体験に向けての取組 職場体験・事前 (キャリアパスポート)	将来の自分、働くことについて考え、体験的な活動に向けて情報収集し、それらについてまとめる。
	上級学校調べ 上級学校訪問に向けての取組	卒業後の自分を具体的に想像し、進路実現に向けて上級学校について調べ、訪問に向けて予定を立てる。
7	学期を振り返る (キャリアパスポート) 夏休みの計画 上級学校訪問 (7～8月)	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。 上級学校を訪問し、その内容をまとめる。
9	学期の目標 (キャリアパスポート) 職場体験・自己PRの作成 職場体験・事後 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートを活用し学期の目標について考え、表現する。
10		自分の良さを適切に表現する能力を育成し、伝える力を高めるとともに思考力を養う。
11		体験活動等をとおして、勤労への意欲や働く人々の思いを理解し、自分が考えたこと、経験したことを表現する。
12	学期を振り返る、学期の目標 (キャリアパスポート)	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、新学期は目標について考え、表現する。
1	自分の特性と進路	自分の将来や生き方、在り方について考える。
2	校外学習に向けての取り組み	校外学習に向けて計画を立てる。
3	社会人の話を聞く会 校外学習・1年間を振り返る (キャリアパスポート)	学び方やものの考え方を身につけ、探求活動に主体的・創造的・共同的に取り組む態度を育成する。キャリアパスポートを活用し、校外学習や、1年間を振り返る。

※単元や内容を変更する場合があります。

令和8年度 キャリア教育 年間指導計画 3学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第3学年のテーマ

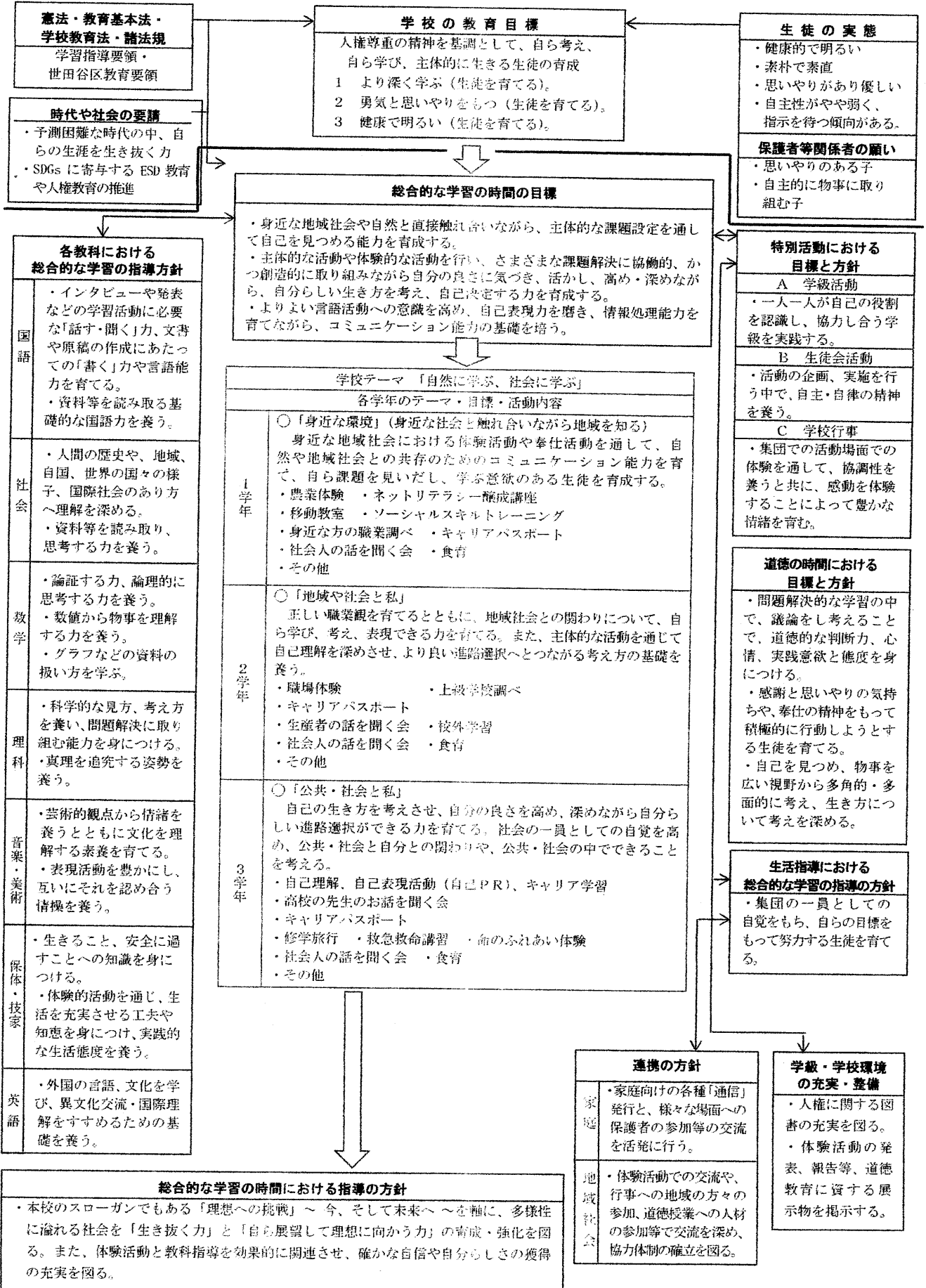
○テーマと目標

「自分の良さを高め、深める」

中学校生活での経験やそこで感じた気持ちを言語化することにより、自分の良さを高める。

月	テーマ	活動
4	3年生になって (作文)	3年生になったの決意を残す。
5	学習の方法と計画 運動会 (キャリアパスポート)	効果的な学習を実践するために計画を立てる。 自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	高校出前授業 高校調べ	進路について情報収集し、それらについてまとめる。
	上級学校訪問に向けての取組 進路説明会	卒業後の自分を具体的に想像し、進路実現に向けて上級学校について調べ、訪問に向けて予定を立てる。
7	学期を振り返る (キャリアパスポート) 夏休みの計画	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。
9 10 11	学期の目標 (キャリアパスポート) 第2回 進路説明会 自己PRカードの作成 入試に向けて	キャリアパスポートを活用し学期の目標について考え、表現する。 自分の良さを適切に表現する能力を育成し、伝える力を高めるとともに思考力を養う。 入試に向けての取り組みを通して、自分の進路を選択できるようにする。
12 1	学期を振り返る、学期の目標 (キャリアパスポート) 自分の特性と進路	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、新学期は目標について考え、表現する。 自分の将来や生き方、在り方について考える。
2	入試に向けての取り組み	よりよい将来について考え、自分の進路について考える。
3	中学校生活を振り返る (キャリアパスポート)	学び方やものの考え方を身につけ、探求活動に主体的・創造的・共同的に取り組む態度を育成する。キャリアパスポートを活用し、中学校生活を振り返る。

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画



令和8年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 1学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、自分らしい生き方を考え、自己決定する力を育成する。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第1学年のテーマおよび年間指導計画

「身近な環境」（身近な社会と触れ合いながら地域を知る）

身近な地域社会における体験活動や奉仕活動を通して自分の良さに気づき、自然や地域社会との共存のためのコミュニケーション能力を育て、自ら課題を見だし、学ぶ意欲のある生徒を育成する。

月	単元	内容	時数
4	総合的な学習の時間のガイダンス	総合的な学習の学年のテーマと目標	1
5	ネットリテラシー醸成講座	ネチケットを含むネットマナーの講習	1
6	移動教室への取組1	移動教室の概要、事前学習	2
7	農作業体験への取組（地域学習）	農家の方からの話（喜多見地区を学ぶ）	1
9	農作業体験（食育）への取組	草取り 施肥	4
		種まき 寒冷紗設置	
		発芽観察 草取り	
	移動教室の取り組み2	集団作り・事前学習	4
10	移動教室	移動教室	7
	移動教室への取組3	事後学習	2
	農作業体験（食育）への取組	間引き 草取り	1
	大根料理	間引き菜料理	1
	キャリア教育1	進路選択の考え方	1
11	キャリア教育2	職業調べ	2
12	農作業体験（食育）への取組	収穫	2
	大根料理	大根料理	1
1	キャリア教育3	自分探し	1
2		一年間の振り返り	1
3			

計32時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和8年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 2学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、自分らしい生き方を考え、自己決定する力を育成する。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第2学年のテーマ

○テーマと目標

「地域や社会と私」

正しい職業観を育てるとともに、地域社会との関わりについて、自ら学び、考え、表現できる力を育てる。また、主体的な活動を通じて自分の良さを活かし、よりよい進路選択へとつながる考え方の基礎を養う。

月	単元	内容	時数
4	進路学習についての導入	総合的な学習について 身の回りの人への感謝の気持ちについて考える。	1
5	進路学習について	働くことについて考える。色々な職業について知る。	2
6	職場体験に向けての取組	職場体験について学習する。	2
	上級学校調べや上級学校訪問に向けての取組	事前学習 訪問体験（夏休みに訪問予定。レポートにまとめる） 事後学習	2
7	職場体験に向けての取組	職業について	1
		事業所決定	1
9	職場体験（実施できない場合は、それに代わる体験的な行事を考える）	社会人としての心構え	2
		事前学習・事前訪問	4
10	色々な社会に触れよう（1）	職業体験	11
		事後学習	2
11			
12	校外学習に向けての取組	校外学習へ向けての準備	2
1	校外学習、校外学習事後学習	校外学習、校外学習事後学習	10
2			
3	色々な社会に触れよう（2）	様々な職業について学び、自分の将来や生き方、在り方について考える。	2

計42時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和8年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 3学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、自分らしい生き方を考え、自己決定する力を育成する。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第3学年のテーマ

○「公共・社会と私」

自己の生き方を考えさせ、自分の良さを高め、深めながら自分らしい進路選択ができる力を育てる。
社会の一員としての自覚を高め、公共・社会と自分との関わり、できることを考える。

月	単元	内容	時数
4 5	進路学習	自分の好きなことに向き合う	4 10
6	修学旅行・事前学習	修学旅行・事前学習	4
7	進路学習のスタート	進路学習の見通しと目標	2
	高校の先生による講話・事前学習	事前学習・高校の先生による講話	2
9	修学旅行	修学旅行	1 2
10	修学旅行・事後学習 進路学習	修学旅行・事後学習 自己理解	2
11	進路学習	面接練習、マナー講習会 集団討論	5
12	進路学習	自己表現への取り組み 自己PR	3
1 2	進路学習	自己理解・自己表現活動	7
3	「社会人の話を聞く会」への取組	講演会	2
	命のふれあい体験	乳幼児と母親との交流	2

計 46 時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和8年度 教科「日本語」年間指導計画 1学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

2 1学年の年間指導計画

月	領域	単元	時数
4	表現	率直な自己表現（日本語ガイダンスを含む）	2
5	哲学	視野を広げて考える	1
	表現	対話の基礎	1
6	哲学	人とのかかわりについて考える	1
	哲学	新聞を活用して考えるーメディアリテラシー	1
7	日本文化	「食」ー食べる1 食物と自然	3
		日本の発酵文化	
		未来に伝えていきたい日本の「食」	
9 10 11	表現	知的書評合戦 ビブリオバトル	2
1	日本文化	和歌に親しもう 百人一首 または、「食」ー食べる2 食物と自然、食事を豊かにする	2
2	表現	相手・場面とことば	1
	哲学	生きることについて考える	1
	哲学	自然とともに生きることを考える	1
3	表現	私のニュース解説ーメディアリテラシー	2

計 18 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和8年度 教科「日本語」年間指導計画 2学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

月	領域	単元	時数
4	哲学	もう一度「考える」ことを考える	1
	哲学	自然と共に生きることを考える	1
5	哲学	生きることについて考える 職業と好きなこと	2
	哲学	人とのかかわりについて考える	1
6	表現	相手・場面とことば 電話のかけ方 手紙の書き方	1
	表現	相手に対するマナーについて	2
7	表現	演劇で育むコミュニケーションの力	2
9	日本文化	「衣」－着る 和服 浴衣 着物	3
	哲学	自然とともに生きることを考える 環境先進国 江戸	1
10	表現	手紙を書こう	1
	哲学	ことばと文化	1
11	日本文化	演劇で育むコミュニケーションの力	3
	表現	コマーシャルの秘密 メディアリテラシー	3
1	日本文化	「楽」－楽しむ 川柳 落語	2
2	日本文化	食育 生産者の話を聞く 無茶々園の方による講習	1
3	表現	「日本語」の学習のまとめ	3

計 28 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和8年度 教科「日本語」年間指導計画 3学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きるものの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

月	領域	単元	時数
4	哲学	人とのかかわりについて考える	1
	哲学	「論理の力」を考える	1
5	日本文化	「住」－住む すまいと日本の文化・自然 建築様式 内と外の境界 格子 木の命	3
6	表現	新聞の活用 メディアリテラシー3 投書を書こう	1
	哲学	生きることについて考える	1
7			
9	日本文化	「技」－作る 箸を作る	1
	表現	自分についてよく伝えよう 面接編	2
10	表現	講師によるマナー講習	3
11	表現	小論文を書こう・集団討論をしよう	4
12	日本文化	食事を豊かにする 食のしつらい	2
1	哲学	生きることについて考える 人生に答えを出した男の物語	1
	日本文化	未来に伝えていきたい日本の「食」 箸を使う	1
2	日本文化	外国人の見た日本 シュリーマンの見た日本	1
3	哲学	社会の一員としての自分の役割を考える 社会の一員としてできること	2

計 24 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和8年度 人権教育 全体計画

世田谷区立喜多見中学校

<関係法令等>

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学習指導要領
- ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
- ・東京都教育委員会教育目標
- ・世田谷区教育委員会教育目標
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

<学校の教育目標>

- 深く学ぶ（生徒を育てる）
- 勇気と思いやりをもつ（生徒を育てる）
- 健康で明るい（生徒を育てる）

<生徒の実態>

素朴で明るく、まじめな気質の生徒が多い。一方で、自己肯定感・自己有用感が低く、自主性や自己決定力に欠ける生徒が多い。

<地域・保護者の願い>

活発な学校生活を送り、社会に出てからもがんばれる力を身に付けさせたい。

<人権教育の目標>

世田谷区教育委員会教育方針を受け、各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間をとおして、人権尊重の精神を基調とした教育および、自他を敬愛し、理想と志をもち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることのできる自立した個人を育成する教育を推進する。

<人権教育の課題>

- ・生徒に基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるとともに、生徒の発達段階を考慮した指導により、生徒の意欲と態度を育成する。
- ・豊かな自然や地域を生かした指導により、情操豊かな生徒を育成する。
- ・障害者、性自認、異性愛者以外の性的指向を有する者、子ども、外国人への偏見やインターネット等による人権侵害をなくし、全ての人々の人権が尊重される社会づくりにつながるよう人権意識を高める。

<目指す生徒像>

- ・心身ともに健康で、自分の良さを発揮し、社会に貢献する生徒
- ・自他を慈しみ、生命を大切にする心と、人とのかかわりを通して豊かな心をもつ生徒

<全教育活動における指導のねらい>

人権の意義や重要性についての正しい知識を十分に身に付けるとともに、日常生活の中で人権上問題のあるような出来事に接した際に、直感的にその出来事はおかしいと思う感性や、日常生活において人権の配慮がその態度や行動に表れるような人権感覚を十分に身に付けることができるようにする。

<教科等でのねらい>

国語	適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めると共に、思考力を養う
社会	民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う
数学	数理的に筋道を立てて、論理的に考察する能力を育てる
理科	科学的に調べる能力と態度、生命を尊重する態度を育てると共に、科学的な見方や考え方を養う
音楽	豊かな情操を養う
美術	豊かな情操を養う
保健体育	能力や、身体の違いによる差別をなくし協力・公正などの態度を養う
技術・家庭	生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる
外国語	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と実践的コミュニケーション能力の基礎を養う

<きたみ人権デー>

月1回、朝のモジュール時間を活用した放送による人権講話を通して、生徒の人権感覚・人権意識の涵養を図る。

<教職員の研修>

- ・都教委や区教委主催の研修会への参加
- ・研修会の活性化

<学年・学級経営>

- ・一人一人を大切にし、良さを伸ばす。
- ・生徒同士、生徒と教職員が相互に信頼する温かい学校づくり

<保護者・地域との連携>

- ・道徳授業地区公開講座の実施
- ・学校協議会を活用して、地域に協力を求める。

令和8年度人権教育にかかわる年間指導計画

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

〔第1学年〕

<考え方>
各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>
・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。					1学期を土台とし、「合唱コンクール」を通して、生徒同士が互いに認め合える集団、ルールとマナーなどを大切にする集団の育成を目指す。集団の一員として責任感を持ち、協力する態度を養う。生徒の自主的な活動を支援する。					より深く考える態度と、向上する心の育成を図る。身近な人の生き方や価値観に触れ、自分を見つめ直し、自ら進路を切り拓く意欲を育成する。		
各教科						社会科：「アメリカ州」 【外国人】 【人種差別】		社会科：「南アメリカ州」 【外国人】 【人種差別】					
						保健体育科：「心身の発達と心の健康」 【人権全般】【女性】【子供】【性自認】【性的志向】							
特別の教科道徳	・よりよい学校生活、集団生活の充実	・思いやり、感謝 ・友情、信頼	・【公正、公平、社会正義】	・向上心、個性の伸長 ・【生命の尊さ】 ・遵法精神、公德心 ・社会参画、公共の精神		・国際理解、国際貢献 ・節度、節制	・勤労 ・自主、自律、自由と責任	・礼儀 ・【相互理解、寛容】	・自然愛護 ・感動、畏敬の念 ・家族愛、家庭生活の充実 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土愛	・伝統と文化の尊重、国を愛する態度	・よりよく生きる喜び	・希望と勇気、克己と強い意志 ・真理の探究、創造	
人格の完成をめざして	・挨拶	・思いやり	・責任	・良心	・健康な体	・勇気	・公共心	・フェア	・奉仕の心	・感謝	・やりぬく心	学校を愛する心	
教科日本語	(表現)率直な自己表現、対話の基礎(哲学)視野を広げて考える、人との関わりを考える、メディアリテラシー(日本文化)食・食べる①					(表現)ビブリオバトル					(表現)相手・場面ことば(哲学)生きることについて考える、自然とともに生きることを考える(日本文化)和歌、食・食べる②		
総合的な学習の時間	・総合的な学習の時間のガイダンス ・ソーシャルトレーニングへの取組					・食育指導：農作業体験(大蔵大根栽培)への取組 ・移動教室への取組					・百人一首への取組 ・進路学習への取組		
特別活動	・1学期の目標作り ・組織作り ・自己を知る ・授業規律の確立	・生徒総会への取組 ・中間考査への取組 ・移動教室、運動会への取組	・運動会の反省 ・進路学習 ・期末考査の準備と反省	・1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方		・夏休みの反省 ・2学期の目標作り ・中間考査の準備と反省	・後期組織作り ・合唱コンクールへの取組	・期末考査の準備と反省 ・三者面談	・三者面談 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・冬休みの反省 ・3学期の目標作り ・百人一首への取組 ・学習成果展覧会への取組	・学年末考査の準備と反省 ・学習成果展覧会の振り返り	・卒業式への取組 ・1年間の振り返り	
主な行事	・入学式 ・新入生歓迎会 ・身体計測 ・生徒総会 ・三者面談	・中間考査 ・保護者会 ・運動会	・道徳授業地区公開講座 ・学校公開期間 ・期末考査	・進路説明会 ・終業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・中間考査	・進路説明会 ・合唱コンクール	・新入生体験入学 ・期末考査	・セーフティ教室 ・三者面談 ・終業式	・始業式 ・百人一首大会 ・学校公開期間	・学校公開期間 ・学習成果展覧会 ・学年末考査	・社会人の話を聞く会 ・保護者会 ・卒業式 ・修了式	

人権教育にかかわる年間指導計画

[第2学年]

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

<考え方>

各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>

- ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
- ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
- ・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
- ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
- ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。生徒理解を深め、新学級での生活適応を図り、望ましい人間関係を築く。生活面・学習面での礎をつくる。日常の生活からTPOや言葉遣い等を意識しながら、「運動会」への取組を通して自ら判断して行動し、望ましい人間関係を構築しようとする態度を育成する。					1年生での上級学校調べを基盤にして、2年生では「職場体験」を行い、自分の将来について考えさせ、働くことの意義や職業についての理解を深めさせる。また、「合唱コンクール」を通して生徒同士がお互いに認め合える集団を育成する。					「校外学習」への取組を通して、事前・事後学習や、集団行動でのルールを取り決めなどで、生徒が主体的に自分の課題を選択・解決・発表する能力を育てる。		
各教科						社会科：「江戸幕府の成立と領国」 【同和問題】 【人権全般】				社会科：「北海道地方」 【アイヌの人々】 【人権全般】	社会科：「開国と近代日本の歩み」 【人権全般】		
特別の教科道徳	・自主・自律 ・自由と責任	・節度、節制 ・向上心 ・個性の伸長 ・強い意志	・真理の探究、創造 ・思いやり、感謝	・礼儀 ・友情、信頼 ・相互理解 ・寛容		・遵法精神、公德心 ・公正、公平、社会主義	・社会参画、公共の精神 ・勤労 ・家族愛	・学校生活、集団生活の充実 ・郷土の伝統と文化	・国の伝統と文化 ・国際理解、国際貢献	・生命の尊さ	・自然愛護 ・感動、畏敬の念	・よりよく生きる喜び	
人格の完成をめざして	・挨拶	・思いやり	・責任	・良心		・勇気 ・健康な体	・公共心	・フェア	・奉仕の心	・感謝	・やりぬく心	学校を愛する心	
教科日本語	「哲学」 ・「考える」ことを考える ・生きることについて考える 「表現」 ・相手・場面とことば 相手に対するマナーについて					「表現」 ・演劇で育むコミュニケーションの力 「哲学」 ・ことばと文化					「日本文化」 ・生産者の話を聞く ・「日本語」の学習のまとめ		
総合的な学習の時間	・総合的な学習の時間のガイダンス ・職場体験に向けての取組 ・上級学校調べや上級学校訪問に向けての取組 ・食育、環境教育(ESD)の取組 ・ソーシャルトレーニングへの取組					・職場体験にかかわる取組 ・色々な社会に触れよう					・校外学習への取組		
特別活動	・1学期の目標づくり ・組織づくり ・自己を知る ・授業規律の確立	・生徒総会への取組 ・中間考査への取組 ・運動会への取組	・進路学習 ・期末考査の準備と反省	・1学期のまとめと反省 ・夏休みの過ごし方		・夏休みの反省 ・2学期の目標づくり ・職場体験 ・中間考査の準備と反省	・後期組織作り ・生徒総会への取組 ・合唱コンクールへの取組	・期末考査の準備と反省	・三者面談の実施 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・冬休みの反省 ・3学期の目標づくり ・校外学習への取組	・校外学習 ・学年末考査の準備と反省	・卒業式への取組 ・校外学習	
主な行事	・入学式 ・新入生歓迎会 ・身体計測 ・三者面談 ・生徒総会	・中間考査 ・運動会 ・保護者会	・道徳地区公開講座 ・期末考査	・保護者会 ・終業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・生徒総会 ・新入生部活動体験	・中間考査 ・進路説明会 ・学校公開週間 ・合唱コンクール	・新入生体験入学 ・期末考査	・三者面談 ・終業式	・始業式 ・百人一首大会	・学習成果展覧会 ・学校公開期間 ・学年末考査	・保護者会 ・卒業式 ・修了式 ・離任式	

人権教育にかかわる年間指導計画

[第3学年]

：関連的な指導

【 】：人権課題

「 」：関連的な教科指導

<考え方>
各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人々と共に生きることもできる自立した個人の育成を重視した。

<指導のねらい>
・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
・道徳…より良い生き方を求めていく態度や心情の育成
・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。					学級生活の向上を図るとともに、自己の良さを発揮し、個性を伸ばす適切な進路選択が主体的にできるよう、支援する。進路選択のための学習を行うとともに、進路にかかわる相談機能の充実を図る。進路選択にかかわって家庭・保護者との連携を図る。					3年間の中学校生活を振り返り、感謝の気持ちをもたせるとともに、これからの自己の生き方を考えさせる。		
各教科	社会科：「個人の尊重と日本国憲法」 【人権全般】 【女性】 【子供】 【高齢者】 【外国人】 【同和問題】 【障害者】 【性自認】 家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】 【子供】 【高齢者】 【同和問題】 【外国人】 【障害者】 【性自認】					家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】 【子供】 【高齢者】 【同和問題】 【外国人】 【障害者】 【性自認】					保健体育科：「健康な生活と病気の予防」 【HIV感染者等】 家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】 【子供】 【高齢者】 【同和問題】 【外国人】 【障害者】 【性自認】		
特別の教科道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを広げる 礼儀正しい行動 他者と向き合う 	<ul style="list-style-type: none"> 自他の声明を尊重 誠実な責任ある行動を目指して 公平公正に接する 	<ul style="list-style-type: none"> 他者への思いやり 人間関係の構築 時を超えてつながる思いを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 心理を追求する 乳幼児とのふれあい 友情とは 	<ul style="list-style-type: none"> 生命を大切に 自他の違いを生かす よりよい社会をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 差別や偏見のない社会へ 自分の行動の誠実さ 目標を持ち続けて学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> よりよく生きる 伝統や文化を尊重する 家族とはどんなものか考える 	<ul style="list-style-type: none"> 自然を大切にする 理想に近づこうとする意志 	<ul style="list-style-type: none"> 良い生活習慣を実践する ひとの心のありよう 	<ul style="list-style-type: none"> 自分を輝かせる 自分の尊さについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の成長や考えの深まりを見つめ 		
人格の完成をめざして	・挨拶	・思いやり	・責任	・良心	・勇気 ・健康な体	・公共心	・フェア	・奉仕の心	・感謝	・やりぬく心	・学校を愛する心		
教科日本語	「日本文化」 ・「住」住む ・「楽」楽しむ ・「技」つくる					「日本文化」 ・「食」食べる					「日本文化」 ・「衣」着る		
総合的な学習の時間	・総合的な学習の時間のガイダンス ・修学旅行への取組 ・食育指導：日本の食文化「京都の食にふれる」 ・歌舞伎鑑賞への取組					・自己理解・キャリア学習 ・自己表現への取組 ・進路指導 ・食育指導					・自己理解・自己表現活動 ・進路指導 ・「社会人の話を聞く会」への取組 ・救急救命講習		
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の目標づくり 組織づくり 自己を知る 授業規律の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行への取組 中間審査への取組 運動会への取組と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習 期末審査の準備と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期のまとめと振り返り 夏休みの過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期の目標づくり 進路学習 中間審査の準備と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 組織づくり 合唱コンクールへの取組と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 進路面談 期末審査の準備と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 三者面談 2学期のまとめと反省 冬休みの過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期の目標づくり 進路学習 	<ul style="list-style-type: none"> 進路案手 学年末審査の準備と振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式への取組 3年間の振り返り 		
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 新入生歓迎会 生徒総会 離任式 	<ul style="list-style-type: none"> 中間審査 運動会 	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行 道徳地区公開講座 期末審査 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会 終業式 三者面談 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 生徒会役員選挙 新入生部活動体験 中間審査 	<ul style="list-style-type: none"> 進路説明会 合唱コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> 新入生体験入学 期末審査 	<ul style="list-style-type: none"> 三者面談 終業式 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式 学習成果展覧会 学年末審査 	<ul style="list-style-type: none"> 社会人の話を聞く会 保護者会 卒業式 			

情報教育・ICT活用全体計画

世田谷区立喜多見中学校

日本国憲法
教育基本法他
関係法規

学校教育目標
・より深く学ぶ生徒を育てる
・勇気と思いやりをもつ生徒を育てる
・健康で明るい生徒を育てる

地域の実態
生徒の実態
保護者の願い

情報活用能力
・情報活用の実践力
・情報の科学的な理解
・情報社会に参画する態度

情報教育・ICT活用の目標
・情報モラル教育等を通して情報活用能力を身に付けさせる。
・情報活用能力を身に付けさせ、変化の激しい社会の多くの場面で活躍できる生徒や、情報化社会で活躍できる生徒を育成する。
〔「DQ (Digital IQ)」の向し〕

各学年の指導目標

1年	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器の基本操作を身に付けさせる (タブレットの基本操作・Excelを用いた計算等) 情報手段の特性を理解させる (調べ学習の活用) 情報技術の社会への様々な影響を知らせる (ネットリテラシー醸成・ネット知識と安全)
2年	<ul style="list-style-type: none"> 情報を主体的に収集できる能力を身に付けさせる 必要に応じて、情報进行处理、表現、創造することができる力を身に付けさせる(プレゼンテーション) 情報モラルの必要性を理解させる (著作権・肖像権の基礎知識等)
3年	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、情報を発信・伝達できる能力を身に付けさせる (情報の取捨選択等) 自らの情報活用を評価改善できる能力を身に付けさせる (統計への活用) 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を培う (著作権・肖像権の基礎知識および人権)

各教科における情報教育	道徳教育	総合的な学習の時間 教科「日本語」
ICT 機器やコンテンツを活用し、情報能力の育成を図る。 ・タブレットカメラを用いた明示 ・デジタル教科書の活用 ・各種計測、データ処理	・情報化社会において多量の情報に流されることなく、取捨選択し、責任をもって活用する能力、態度を養う。 ・情報モラルの育成を図る。	・インターネットによる情報活用 ・地域への情報発信と受理 ・ホームページによる学校紹介

- 継続的、日常的なICT機器の利用
- 関係諸機関とネットワークを通じた情報の共有
- 教職員の情報活用能力を高める研修の充実
- 地域の情報発信

令和8年度 学校図書館教育年間計画

1 目的

- (1) 「読書センター」「学習センター」「情報センター」という学校図書館の3つの機能の充実を図っていく。
- (2) 「読書センター」として、本に親しむ生徒を育て、その言語に関する力と考える力を高め、心を育む。
- (3) 「学習センター」・「情報センター」として、生徒の対話的な深い学びを行う授業の実現に寄与し、社会人として必要な情報集収集力や分析力を生徒に培わせる。

2 具体的な方法と年間予定

(1) 読書支援… 【4月】 学校図書館活用の仕方についてオリエンテーション

【6～7月】 読書イベント（1）

【7月】 新着本紹介（前期）、図書委員による「オススメ本紹介」
喜多見小学校 新 BOP への読み聞かせ活動（前期）

【11月～12月】 読書イベント（2）

【12～1月】 図書委員による「オススメ本紹介」、
百人一首・和歌コーナーの設置

【2月】 新着本紹介（後期）

【3月】 喜多見小学校 新 BOP への読み聞かせ活動（後期）

※月ごとに。「〇月生まれの作家」コーナーの設置、図書だよりの発行
※通年で。朝読書の推進。

(2) 学習支援… 【4月】 先生方向け図書館利用ガイダンス

【6～7月】 選書に関する先生方へのアンケート（前期）

【5～9月】 修学旅行関連・職場体験関連図書の手配やコーナー設置

【10～11月】 選書に関する先生方へのアンケート（後期）

【12～1月】 校外学習関連図書の手配やコーナー設置

※随時、各学年での総合的学習の時間や教科「日本語」の授業における調べ学習に対応し、公共図書館より借り出しを行う。

3 そのほか

- ・新しい組織「学校運営協議会」における「学習・図書支援グループ」の協力を得て、上記目的の達成を併せて図る。